

エコマネ茅野 環境活動レポート 2023

令和5年(2023年)4月～

令和6年(2024年)3月



長野県 茅野市

目次

I 茅野市及び組織の概要.....	2
市の概要	2
組織の概要.....	2
II 茅野市役所の温室効果ガス等環境負荷低減に向けた取組.....	2
茅野市環境マネジメントシステム(エコマネ茅野).....	4
III 環境目標の達成状況.....	5
市業務に伴う二酸化炭素排出量	5
月別温室効果ガス排出量(エネルギー別)	5
エネルギーの使用量	7
上水道.....	12
紙.....	12
廃棄物・資源物	13
IV 環境取組目標.....	14
共通取組項目	14
部署取組目標	16
V 職員の環境教育	49
職員研修	49
内部監査員研修	49
内部監査	49
VI 環境関連法規等の遵守	49
VII 代表者による全体の評価.....	51

I 茅野市及び組織の概要

市の概要

茅野市は、長野県の中部の東寄り、諏訪盆地のほぼ中央に位置し、八ヶ岳西南麓の広大な裾野に位置しています。市域は、266.59平方キロメートルを有し、そのうち約4分の3を森林が占めている緑豊かな地域です。

特に、八ヶ岳中信高原国定公園に代表される豊富な自然資源は全国有数であり、観光リゾートの交流拠点としても、毎年多くの観光客が訪れています。



歴史的には、国宝「縄文のビーナス」「仮面の女神」や国指定特別史跡「尖石遺跡」に代表される、縄文時代を中心とした遺跡が市内各地に点在し、八ヶ岳山麓一帯は生活、生産の拠点として古代から繁栄してきた地域です。

令和2年の国勢調査における人口は、56,400人です。令和5年4月1日の推計人口は55,304人です。

組織の概要

自治体名	茅野市	
代表者	茅野市長 今井 敦	
所在地	長野県茅野市塚原二丁目6番1号	
環境管理担当課	市民環境部 ゼロカーボン推進室 ゼロカーボン推進係 TEL:0266-72-2101(内線 272) FAX:0266-82-0236 E-mail:kankyo@city.chino.lg.jp	
組織の規模	令和5年度一般会計予算額	34,340,000千円
	全職員数(令和5年4月1日現在)	510名
事業活動の内容	茅野市役所及び外部施設における行政事務 (参照)茅野市ホームページ https://www.city.chino.lg.jp/	

II 茅野市役所の温室効果ガス等環境負荷低減に向けた取組

茅野市では、地方公共団体実行計画(事務事業編)推進のため、市の実状に合わせた実効性のある独自の環境マネジメントシステム「エコマネ茅野」を運用し、地域の一事業者として全職員が一丸となって事業活動により排出される温室効果ガス削減等環境活動に取り組んでいます。なお、本取組の具体的な取組内容は、「茅野市環境方針」における5つの基本方針に沿って定められています。

茅野市環境方針

茅野市は、地域の一事業者として、自ら行う行政活動の環境への負荷の低減に率先して努めるとともに、茅野市の優れた自然環境を次世代へと引き継ぐため、市民・事業者・滞在者と協働し、「八ヶ岳の豊かな自然と人が調和する環境先進都市」の実現に向けて、以下のとおり環境方針を定め、全職員が一丸となって取り組みます。

1 「八ヶ岳の豊かな自然と人が調和する環境先進都市」の実現に向けた各種施策を推進します。

「茅野市環境にやさしいまちづくり条例」「第2次茅野市環境基本計画」に基づき、地球温暖化対策、循環型社会の構築、自然環境の保全など地域環境の保全・創造に向けて環境に配慮した施策を推進します。

2 行政活動において適切な環境配慮を行います。

地域の一事業者として、日常業務における省資源・省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル、グリーン購入等を通じて環境に配慮した行動を実践します。

3 職員の環境意識を向上します。

研修等の実施により、職員一人ひとりの環境保全に関する理解を深め、環境意識を向上します。

4 環境に関連する法令等を遵守します。

環境関連法規等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

5 環境マネジメントシステムの適正な運用に努めます。

茅野市環境マネジメントシステムを活用し、具体的な環境目標を定め、これを達成するため定期的な見直しと継続的な改善を行い、実施成果を公表します。

～茅野市環境にやさしいまちづくり条例 第2条(基本理念)より～

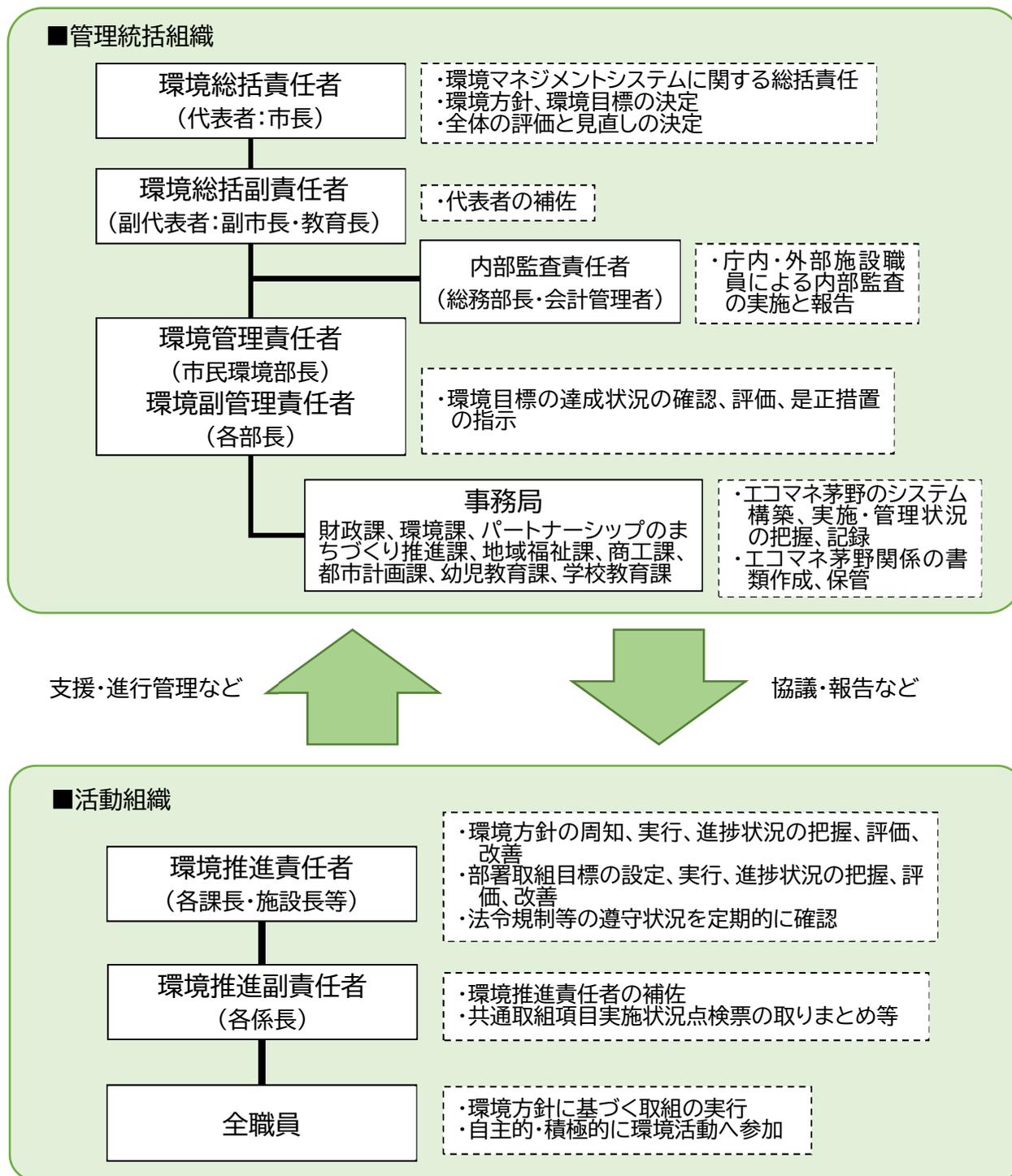
環境の保全等は、すべての市民が健全で豊かな環境の恵沢を享受するとともに、この環境が将来にわたって維持されるよう適切に行わなければならない。

環境の保全等は、すべての者の適切な役割分担の下に、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築することを目的として、自主的かつ積極的に行わなければならない。

環境の保全等は、地域の環境が地球環境と深くかかわっていることに配慮し、すべての事業活動及び日常生活において地球環境の保全に資するよう行わなければならない。

茅野市環境マネジメントシステム(エコマネ茅野)

エコマネ茅野は、事業活動により排出される温室効果ガス等を削減するため、PDCAサイクルを基本として取り組んでいます。実施体制は以下のとおりです。



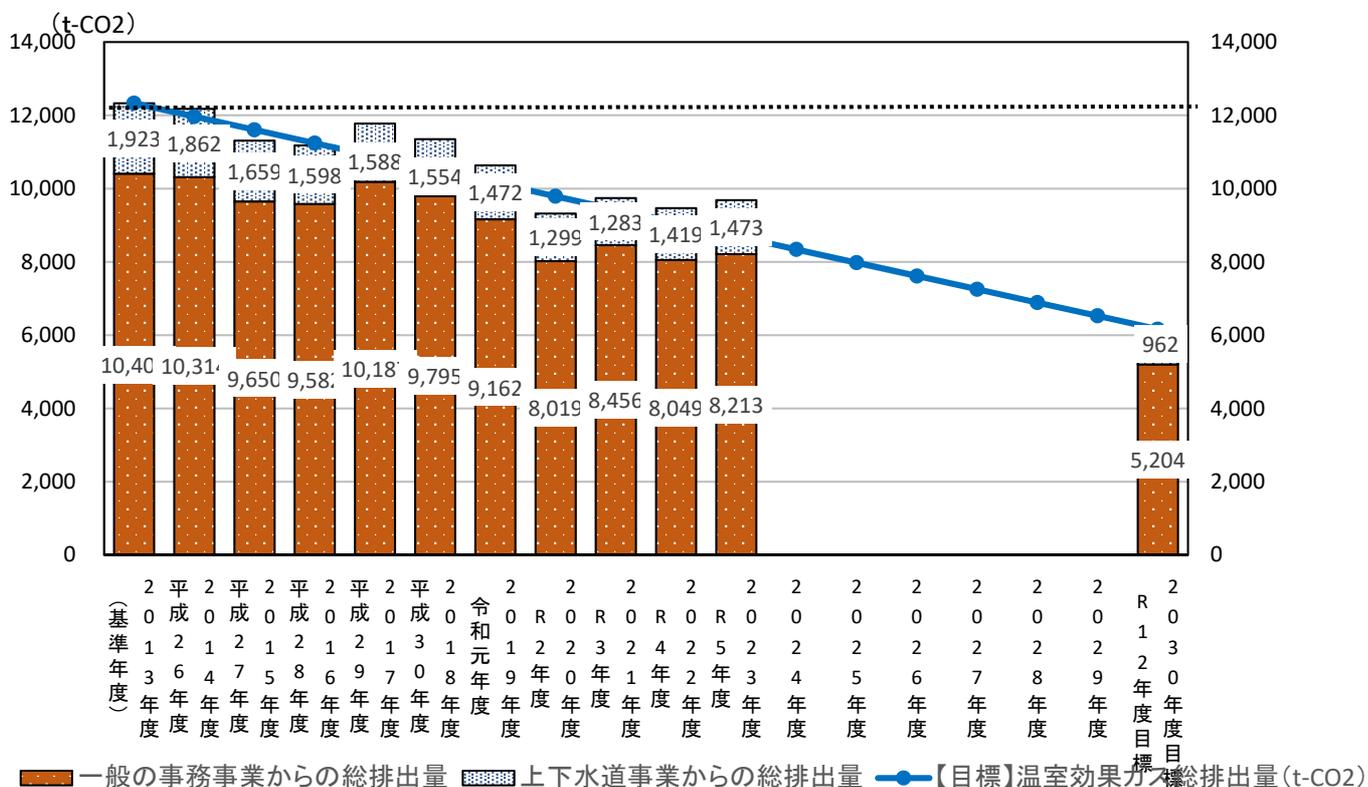
※取組の対象範囲※

- ・市役所本庁舎及び外部施設
- ・市営住宅、一部事務組合所管施設、広域連合所管施設は対象外とします。
- ・運営管理委託・指定管理者制度に係る施設は、委託契約書や協定書に「規制を受ける環境法令等を確実に遵守する」あるいは「温室効果ガスの排出量削減等の措置を講じる」旨などを記載し、委託先や指定管理者に環境配慮を求めています。

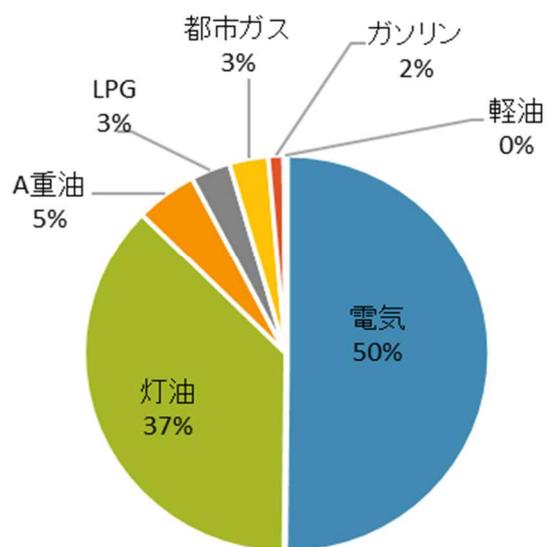
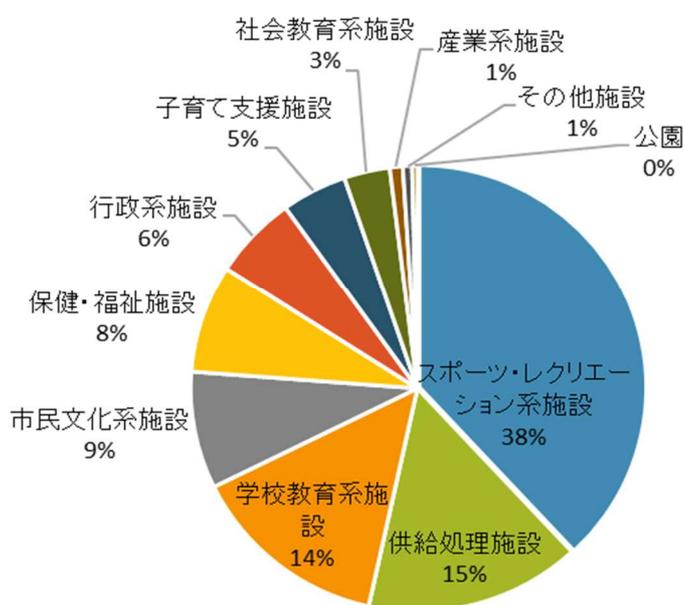
Ⅲ 環境目標の達成状況

・市業務に伴う二酸化炭素排出量

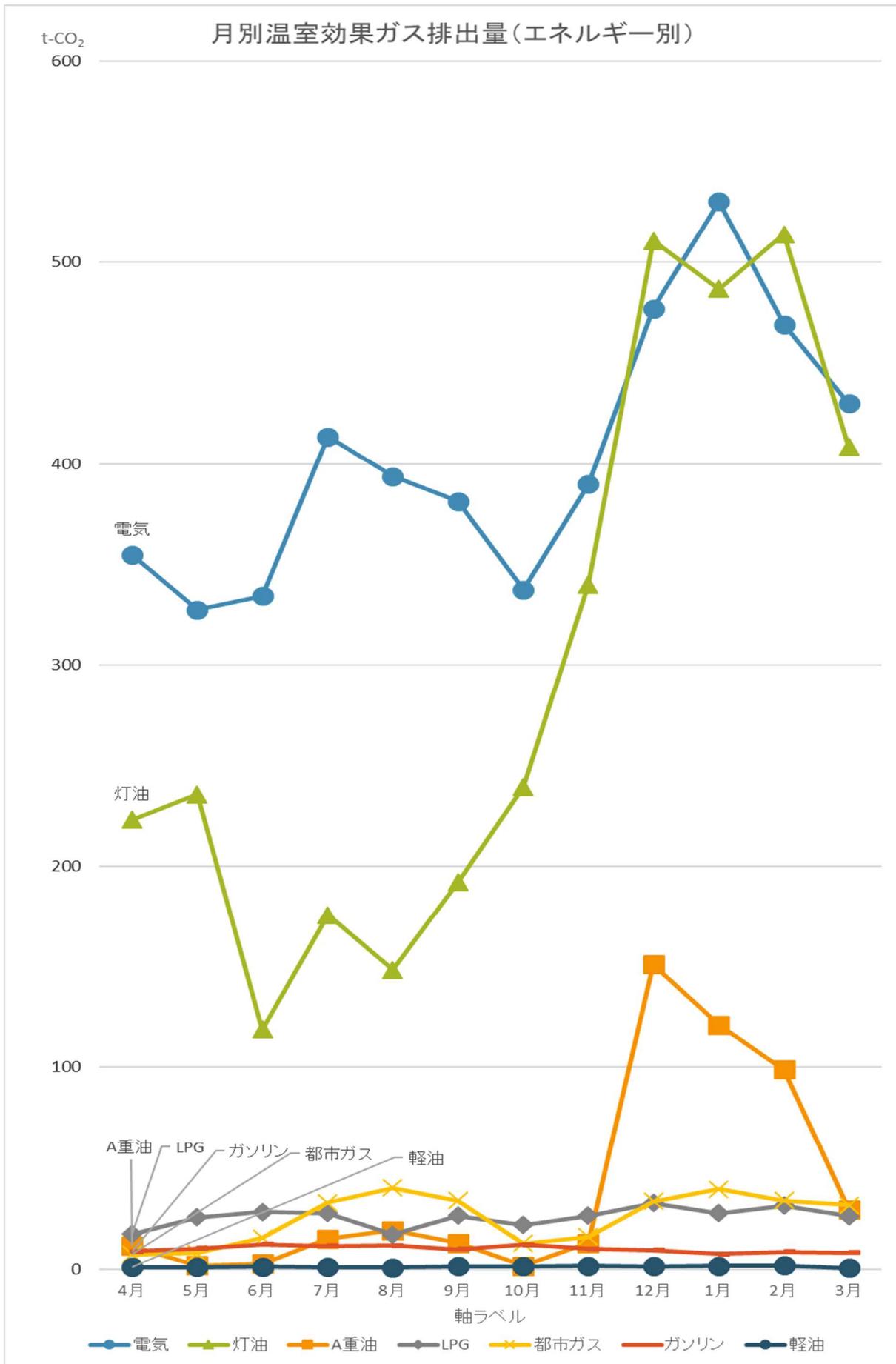
2023 年度目標温室効果ガス排出量 8,703 t-CO₂
 実績 9,686 t-CO₂ (前年度比2.3%増)



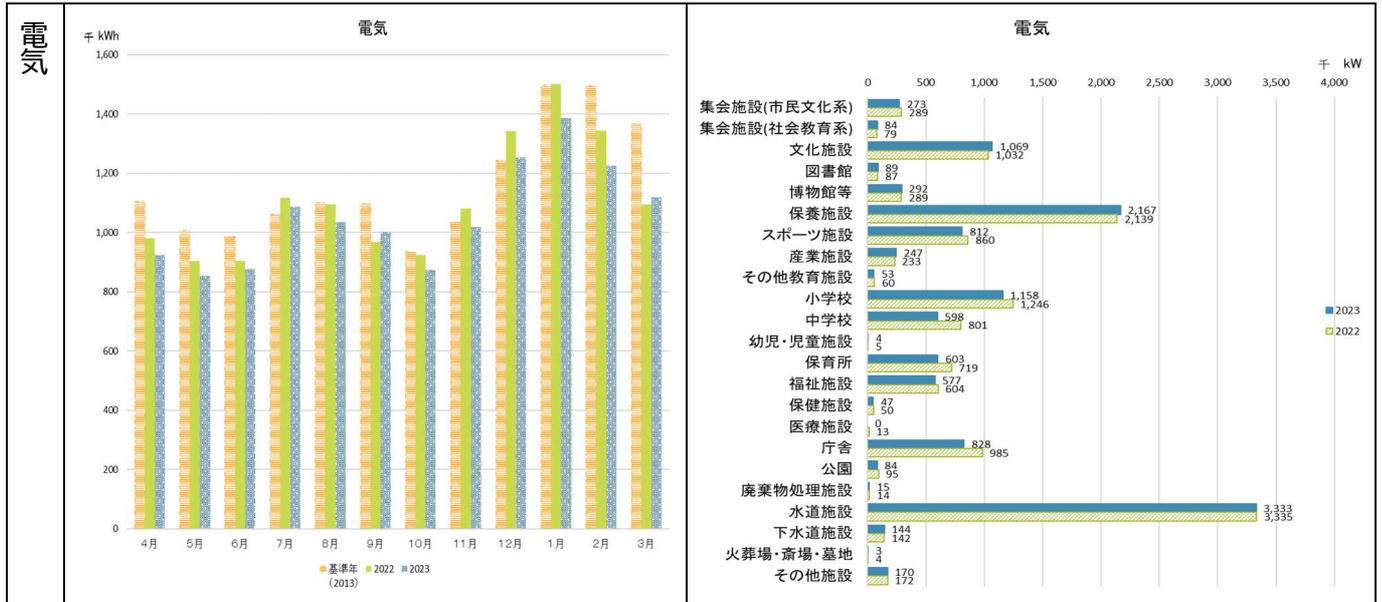
【排出量データ内訳： 左;施設大分類別割合 右;燃料別割合】



・月別温室効果ガス排出量(エネルギー別)



・エネルギーの使用量



用途	具体的な取組	達成状況(前期)	総括
<ul style="list-style-type: none"> 各施設の照明、OA機器、エアコン等設備運転に使用 	<ul style="list-style-type: none"> エレベーター乗り降りの階差3階以内の使用禁止 エスカレーター利用の原則禁止 帰庁時のパソコン等のコンセントを抜く 離席時のモニター電源を切る 電化製品の待機電力の削減 昼休み、時間外は不要な照明を消す 	<ul style="list-style-type: none"> 月別電気使用量は、全ての月で基準年及び昨年度より減少した。 施設別電気使用量は、主に小・中学校、庁舎、水道施設で前年より減少した。庁舎は、蛍光灯をLEDに交換したことが要因だと考えられる。 後期も、引き続き各施設で日頃の省エネ取組を継続していくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の年間使用量は昨年度よりも減少した。 庁舎、保養施設で照明をLED化しており、今後も公共施設で順次LED化を進めていく予定。 設備更新ができない施設では、効率的な空調機器の使用や待機電力の削減など、一人ひとりの日頃の省エネ取組の継続が必要。 今後も排出係数の低い電力を使用する等、CO₂削減に取り組む。 学校教育系施設での太陽光利用については、機器の故障により発電量が減少した・計測不能だった学校が複数あり、正確な測定値が出せなかった。

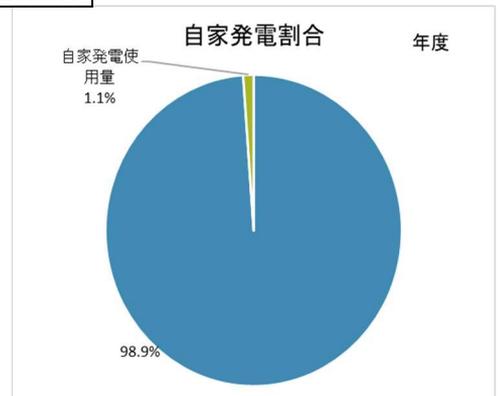
◆ 再生可能エネルギーの利用

(1) 太陽光発電の利用

導入施設	施設数	発電量	自家消費量
子育て支援施設	1	720kWh	0kWh
学校教育系施設	7	151,630kWh	143,622kWh
合計	8	152,350kWh	143,622kWh

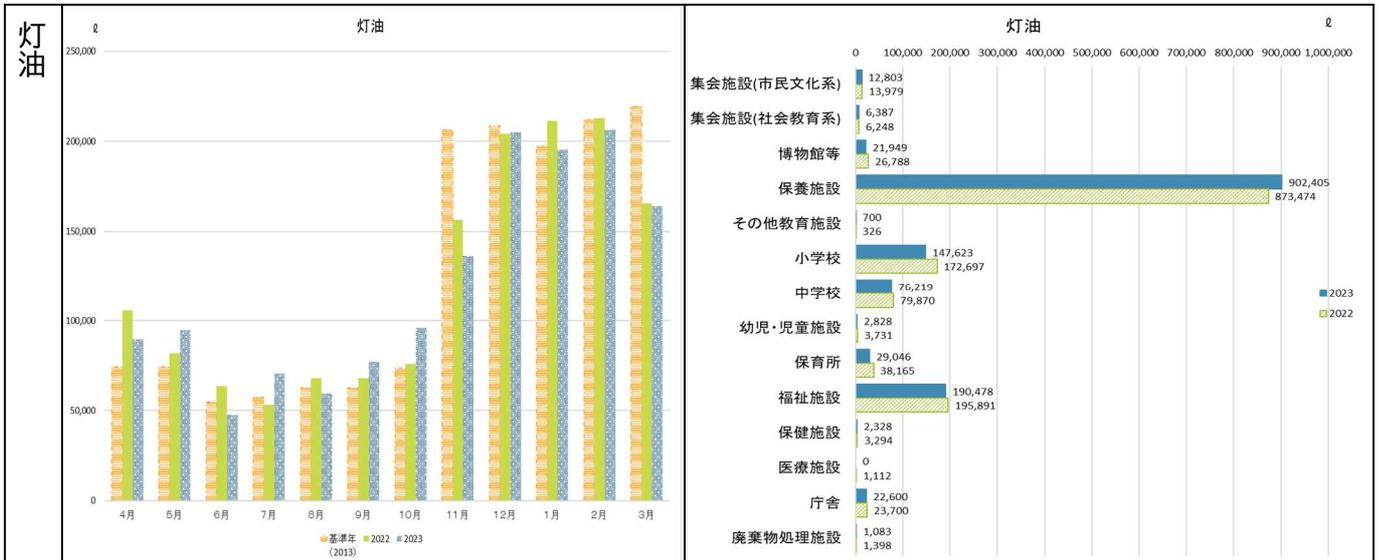
太陽光発電自家消費量の割合

全施設の電力消費量	12,651,200kWh
太陽光発電施設の自家消費量	144,622kWh
太陽光発電消費割合	1.14%

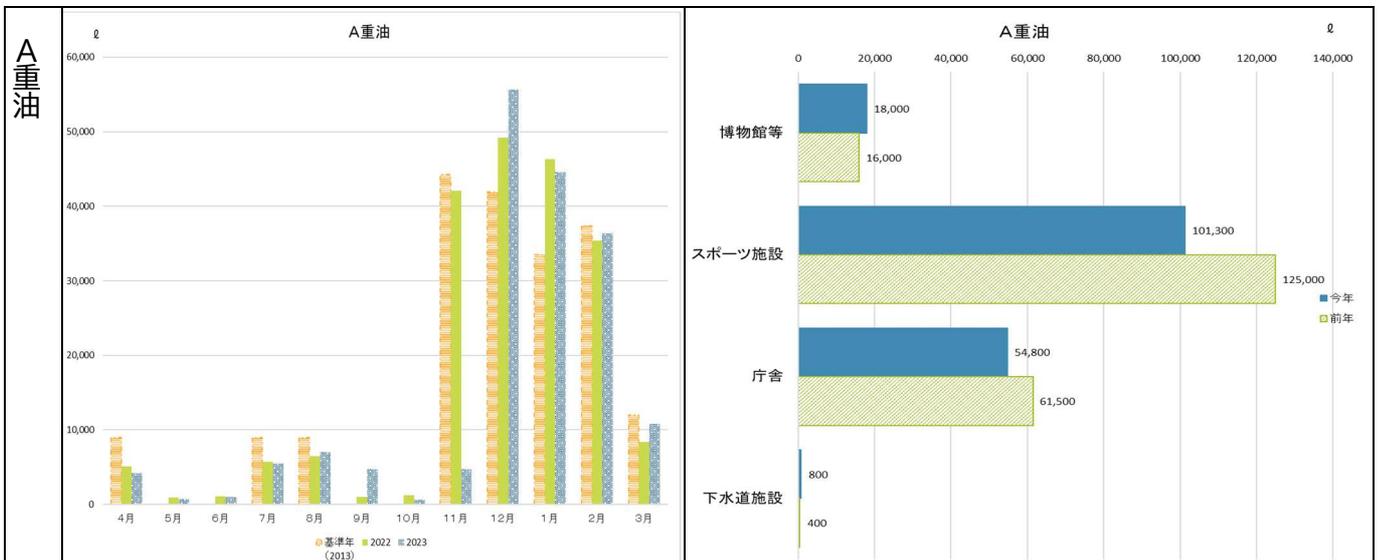


(2) 木質ペレットの利用

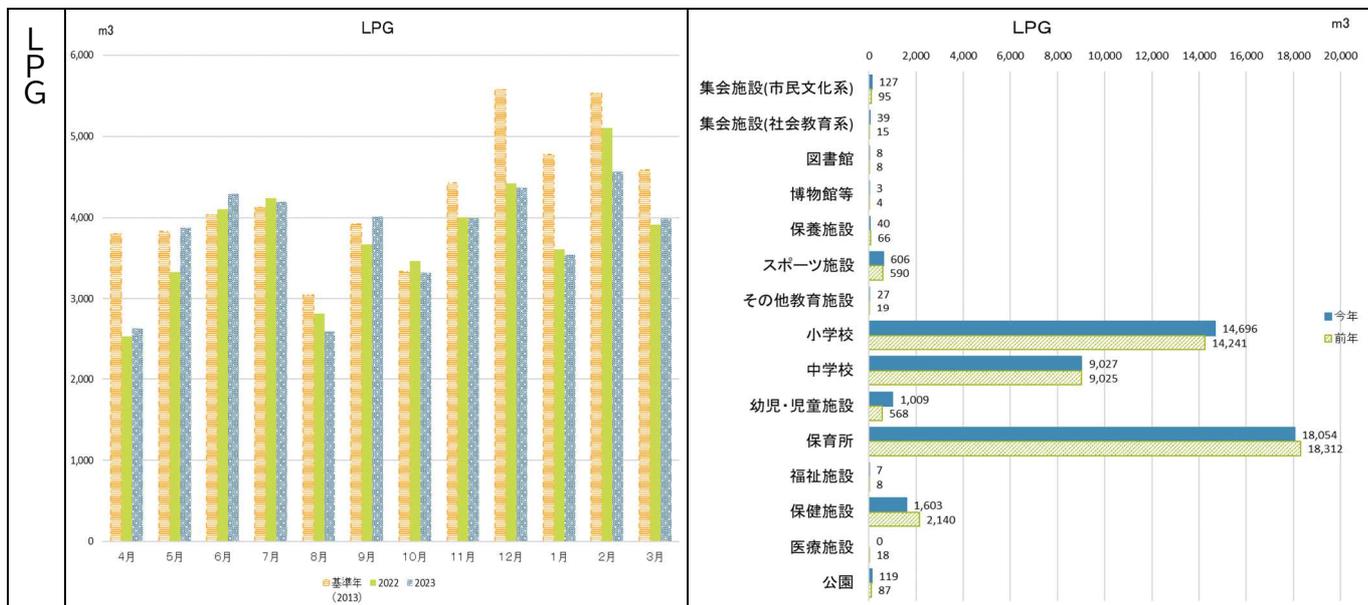
導入施設	施設数	利用量
学校教育系施設	4	600kg



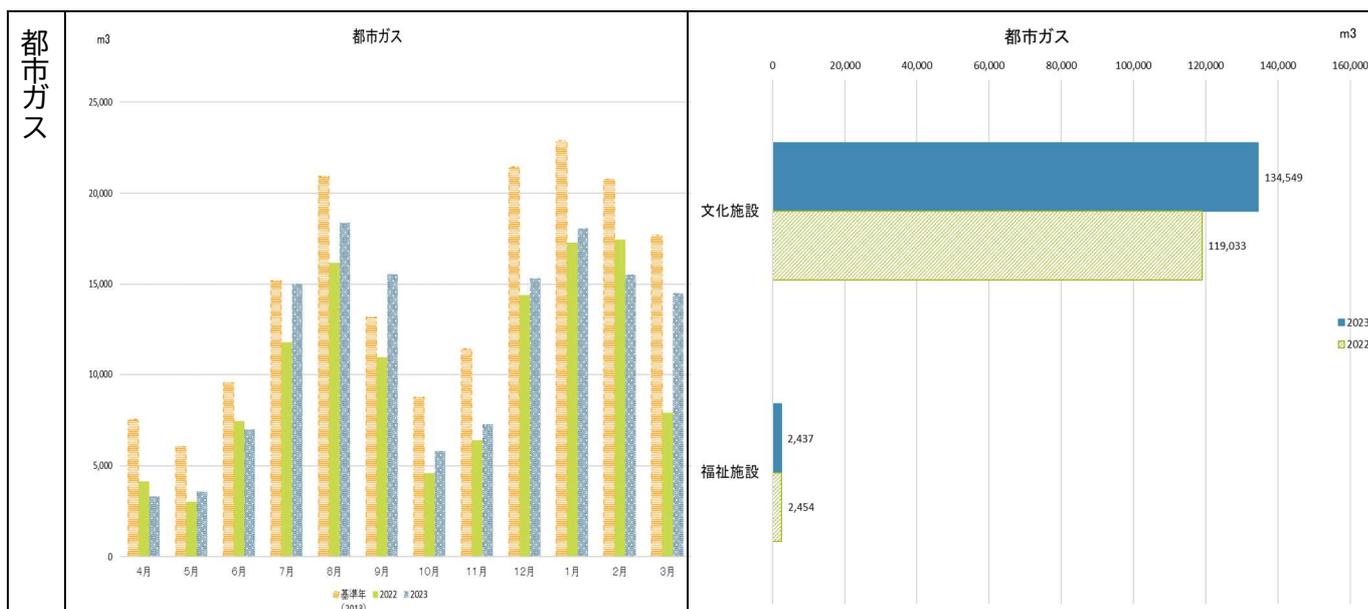
用途	具体的な取組	達成状況(前期)	総括
<ul style="list-style-type: none"> 温泉施設の給湯(保温)、議会棟の冷暖房、学校、その他各施設の暖房に使用 	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房の適正温度を設定 クールビズ、ウォームビズの推進 ブラインドの活用(日光の取り入れ、夜間の保温) 	<ul style="list-style-type: none"> 月別使用量は、5月・7月・9月は基準年及び昨年度より増加したが、全体的には昨年度より減少した。 施設別使用量は、中央公民館と温泉施設で、コロナ前同様の利用状況に戻ったため、昨年度より増加した。小中学校では昨年度より減少した。庁舎で8月・9月が昨年度より増加した。 後期では、各施設の暖房使用による影響も受けるため、エアコンを活用し、効率的に使用していくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 保養施設(温泉施設)は、昨年度より利用者が増加したため、使用量も増加した。 保育施設で、冬期の暖房にエアコンを使用し、ストーブの使用を控えたため、使用量が昨年度より減少した。 全体の使用量は昨年度より少し減少した。



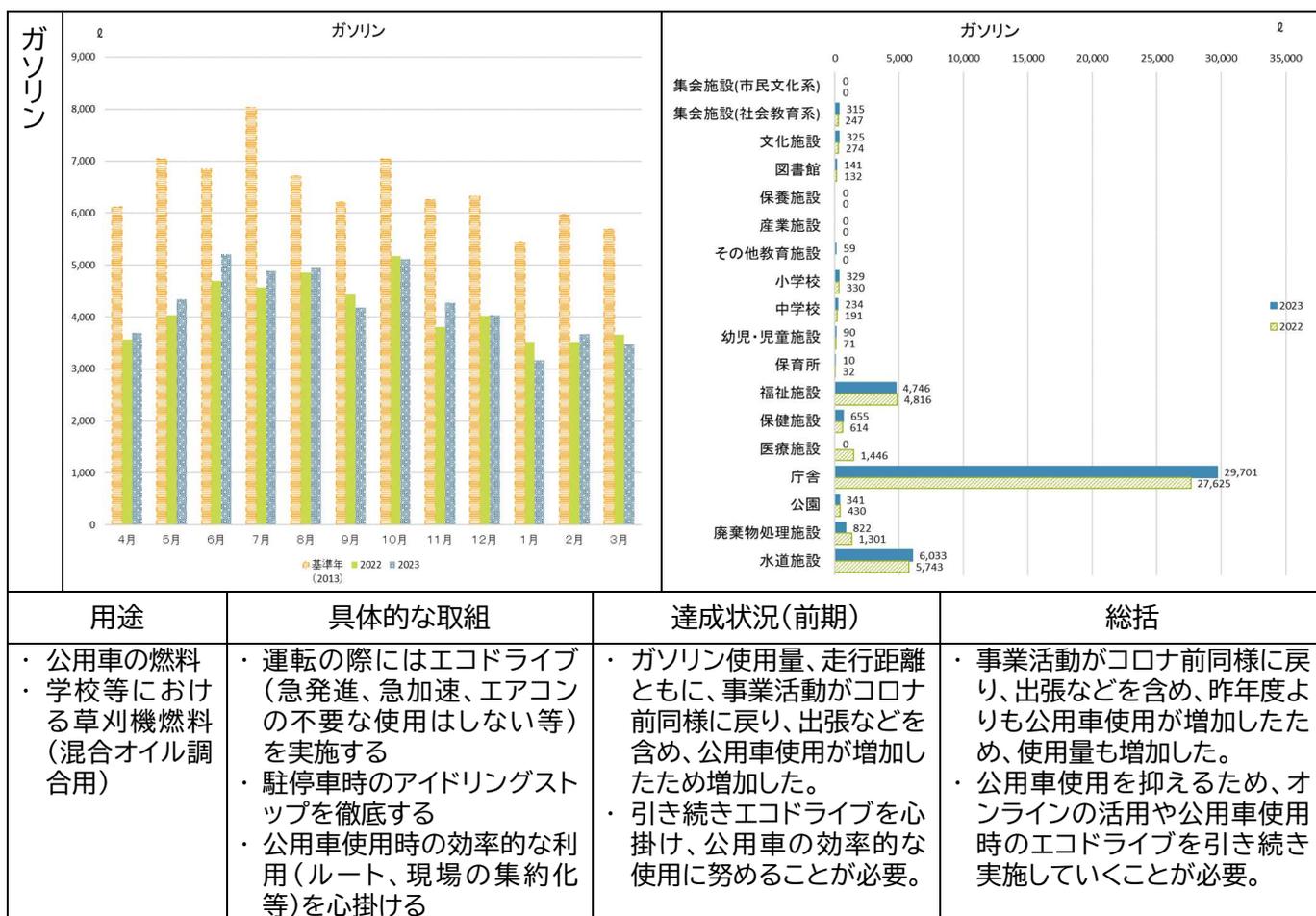
用途	具体的な取組	達成状況(前期)	総括
<ul style="list-style-type: none"> 庁舎、博物館等の空調機器、スケートセンターのアイスパネルの冷却に使用 	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房の適正温度を設定 クールビズ、ウォームビズの推進 ブラインドの活用(日光の取り入れ、夜間の保温) 	<ul style="list-style-type: none"> 月別使用量は、8月、特に9月は昨年より暑く、冷房の使用が多かったため、他の月は昨年度より減少したものの、全体としては昨年度より増加した。 施設別使用量は全ての施設で昨年度より増加した。 後期は、効率的な空調使用に加え、ウォームビズなどで調整していくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎は8月・9月の暑さで冷房使用が増えたため昨年度より増加したが、冬期はウォームビズや暖房使用の減少により、年間では減少した。 スケートセンターのオープンが例年より遅かったため、11月及びスポーツ施設での使用が昨年度より大幅に減少した。 全体の使用量は昨年度より少し減少した。 空調利用は気候の影響を受けるが、適切な空調の温度設定やクールビズ・ウォームビズ等日々できることを継続していくことは引き続き必要。



用途	具体的な取組	達成状況(前期)	総括
給食室の調理機器の使用、各施設調理室等の給湯	給湯器の節水 お湯は必要な量をわかす 鍋底の水滴は拭き取ってから火にかける 炎が鍋底からはみ出さないように調整する	月別使用量、施設別使用量ともに、コロナ・インフルエンザ等のウイルス感染症によるクラス閉鎖等が昨年度より少なく、給食数が増加したことにより、昨年度より増加した。	昨年度よりも使用量が増えた月はあるが、全体の使用量はほぼ昨年度並みだった。



用途	具体的な取組	達成状況(前期)	総括
市民館の冷暖房空調、寿和寮の給湯等	冷暖房の適正温度を設定 クールビズ、ウォームビズの推進 ブラインドの活用(遮光、日光の取り入れ、夜間の保温) 給湯器の節水 お湯は必要な量をわかす	市民館での使用割合が大部分を占めており、使用量は市民館での事業実施状況により左右される。 今年もコロナ前同様に活動が再開し、イベント等の催事が増加したことや、8月・9月が前年より暑かったため、市民館の空調使用も増加したことにより、昨年度より使用量も増加した。 後期は、暖房使用による影響も受けるため、効率的な空調使用に加え、ウォームビズなど、服装等で調整していくことが必要。	使用量は市民館での事業実施状況により左右される。市民館で、コロナ前同様に活動が再開し、イベント等の催事が年間を通して昨年度より増加した。これに伴い夏期・冬期の空調使用量が増加し、昨年度より使用量が増加した。 効率的な空調使用をしていくことが必要。



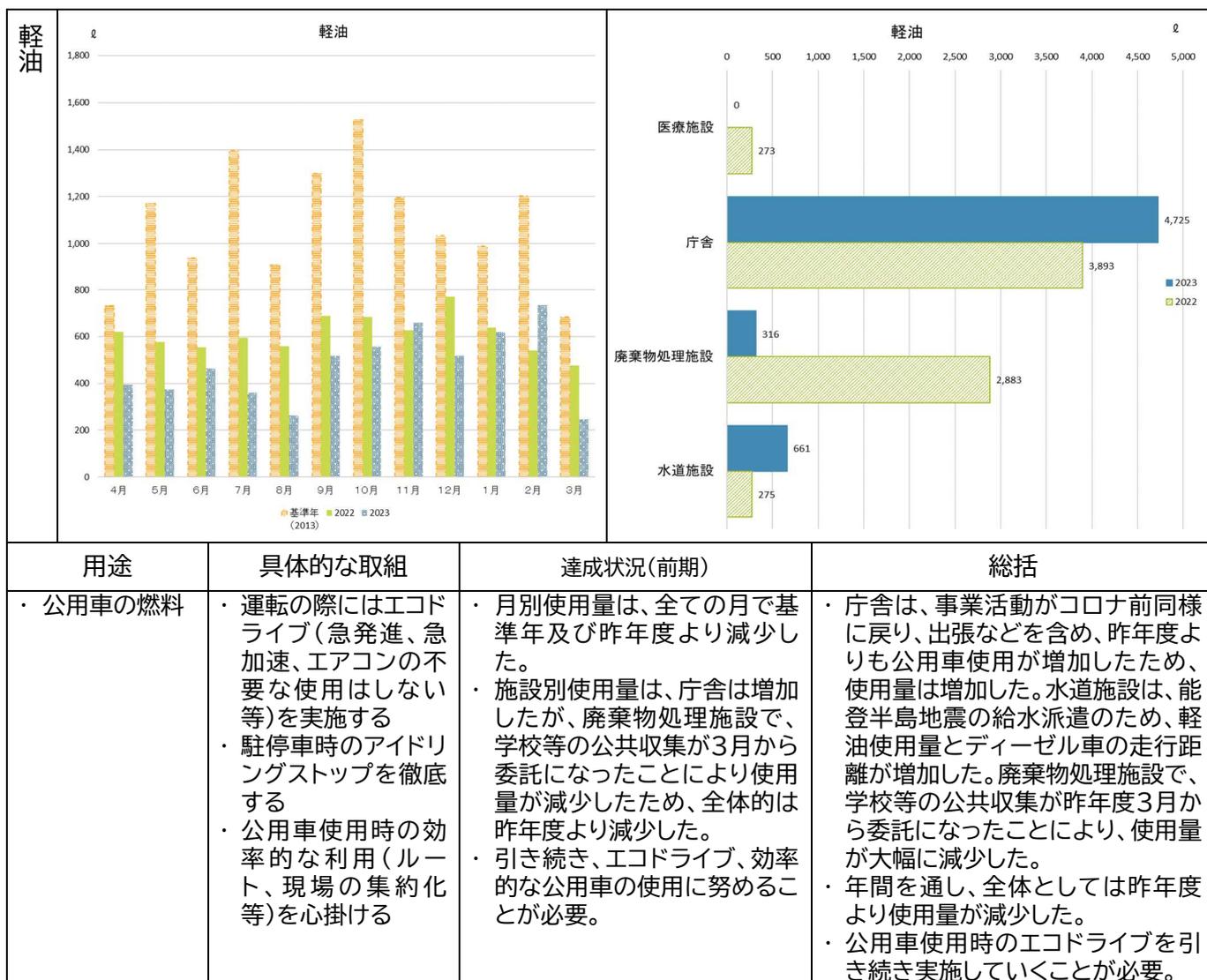
◆ 自動車の走行距離

(1) 車種別走行距離

車種	施設数	走行距離
ガソリン車(軽貨物車)	7	36,979km
ガソリン車(軽乗用車)	9	115,105km
ガソリン車(小型貨物車)	2	1,463km
ガソリン車(普通・小型・軽特種用途車)	1	3,017km
ガソリン車(普通貨物車)	3	148,587km
ガソリン車・LPG車(普通・小型乗用車)	9	208,097km
ハイブリッド自動車	1	23,144km
合計	32	536,392km

(2) ガソリン車の燃費

全施設のガソリン車での使用量 45,522L
燃費 11.78 km/L



◆ 自動車の走行距離
(3) 車種別走行距離

車種	施設数	走行距離
ディーゼル車(普通・小型乗用車)	1	3,183km
ディーゼル車(普通・小型特種用途車)	2	3,960km
ディーゼル車(普通貨物車)	1	471km
ディーゼル車(バス)	1	15,952km
ディーゼル車(小型貨物車)	1	5,724km
合計	6	29,290km

(4) ディーゼル車の燃費

全施設のディーゼル車での使用量 5,461L
燃費 5.36 km/L

・上水道



用途	具体的な取組	達成状況(前期)	総括
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ・洗面台等での使用 ・飲料・調理等での使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・食器、用具洗い等における水道水の出しっぱなしはさけ、節水に努める ・トイレ、洗面台使用時の過剰な水の使用を控える 	<ul style="list-style-type: none"> ・月別使用量は、7月～9月で昨年度より暑かったため、保育園や学校のプール・市営プールで使用が増加し、全体の使用量も昨年度より増加した。 ・施設別使用量は、保養施設で昨年度漏水している施設があったが、修繕したため昨年度よりも減少した。 ・月々の使用量状況の把握から、漏水に早く気づき、不要な水の使用が無いように努めていくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期、昨年度より暑かったため、プールでの使用が増加したが、保養施設で漏水している施設の修繕したため、全体の使用量は昨年度より減少した。 ・施設利用者へも適切な使用の啓発をすることで、無駄な使用を抑えていくことが必要。

・紙

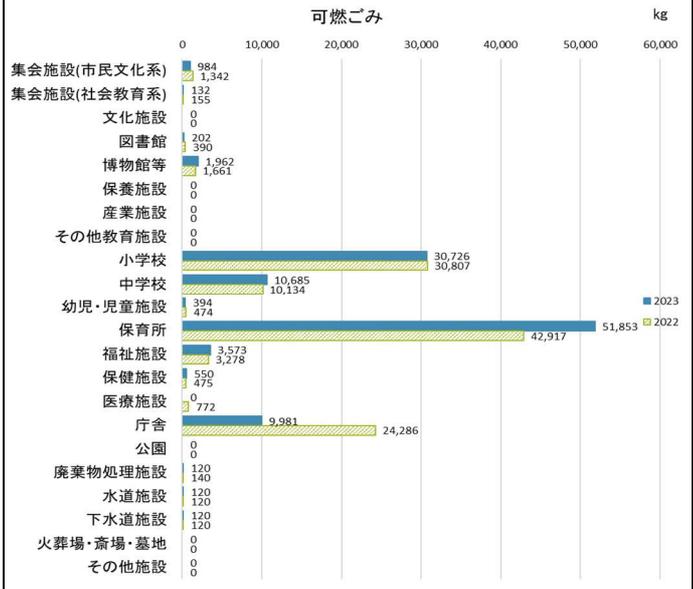
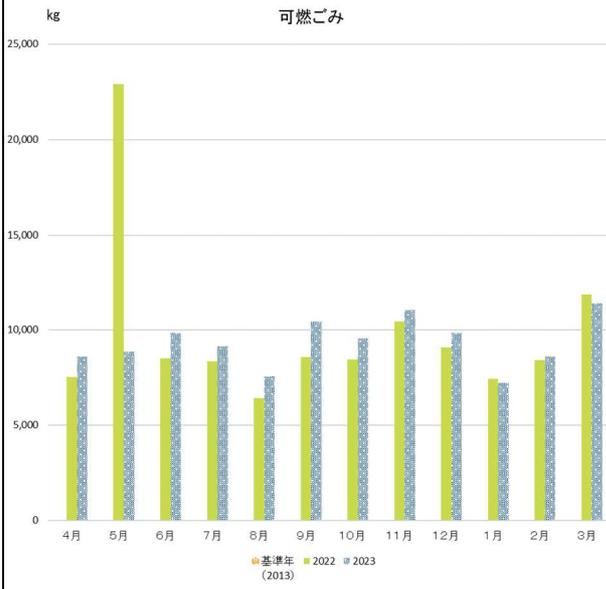


用途	具体的な取組	達成状況(前期)	総括
<ul style="list-style-type: none"> ・配布物の印刷 ・事務書類の印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷やコピーの前にミスやレイアウトを確認する ・会議資料等の印刷は両面とする ・裏紙使用できるミスマットを空箱等に保管し有効利用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙の使用量は、コロナ前同様の活動再開に伴い、通知、チラシ、資料等の作成や配布のため、昨年度より増加した。 ・全体的に昨年度より増加しているため、引き続きペーパーレスを推進していくことが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前同様の活動再開に伴い、通知、チラシ、資料等の作成や配布のため、庁舎、中学校では使用量が昨年度よりも増えた。 ・資料等をデータにより配信するなどの取組も進んできているが、引き続きペーパーレスを推進していくことが必要。

・廃棄物・資源物



可燃ごみ	可燃ごみ	可燃ごみ	
<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁舎、保育園、学校、その他各施設から排出される可燃ごみの排出量 	<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 割り箸、紙コップなど使い捨て品は避け、マイコップ、マイ箸を持参 スーパー・コンビニ等ではレジ袋をもらわない 再利用できるものと廃棄する物の分別 	<p>達成状況(前期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 月別排出量の5月は、庁舎の機密文書細断量の大幅減による。この影響で全体の排出量は昨年度より減少しているが、他の月は全て昨年度より増加している。 小中学校・保育施設で、コロナ・インフルエンザ等のウイルス感染症によるクラス閉鎖等が前年より少なかったこと、活動が活発になったことで昨年度より排出量が増加した。 他の施設もコロナ前同様の活動再開に伴い、排出量が増加した。 ごみの排出量は増加しており、可燃ごみへのプラ容器等資源物の廃棄が庁舎において見受けられるため、職員の資源分別の徹底が必要。 	<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園で4月からおむつの回収が始まったことにより、保育所で昨年度より排出量が増加した。 庁舎の機密文書細断量の大幅減により、全体の排出量は昨年度より減少した。 可燃ごみの排出量は増加傾向にあるため、資源分別の徹底が必要。



IV 環境取組目標

環境取組目標は、部署ごとに取り組む目標(部署目標)と職員一人ひとりが取り組む目標(共通取組項目)があります。

共通取組項目

全職員が日頃から意識して取り組む行動に関する項目です。

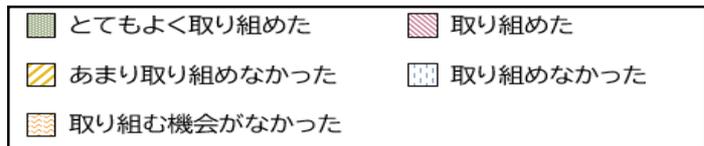
全職員に対しアンケートを実施し、取組状況を確認しています。

共通取組項目		SUSTAINABLE GOALS
<<取組方針①>> 施設等のエネルギー使用量の抑制		
ブラインドやカーテン、緑のカーテンなどにより熱・光・風を調整する。		
昼休み、時間外、会議室・トイレ使用後は不要な照明を消す。		
階差3階以下の場合、エレベーターは使わずに階段を利用する。		
会議室などにおける冷暖房の使用は必要最小限にする。		
10分以上席を離れる場合は、パソコンモニターの電源を切る。		
エスカレーターは使用しない。		
夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着などの服装(ウォームビズ)を実施する。		
<<取組方針②>> 自動車の適正使用		
運転の際には、エコドライブ(急発進、急加速、エアコンの不要な使用はしない等)を実施する。		
駐車時時のアイドリングストップを徹底する。		
公用車使用時の効率的な利用(ルート、現場の集約化等)を心掛ける。		
<<取組方針③>> 水使用量の削減		
手洗い、洗い物、洗車時等において、水の出っぱなしをやめ、必要最小限にする。		
トイレの水の水勢を使い分け、節水する。		
<<取組方針④>> 廃棄物の減量化・リサイクルの推進		
割りばし、紙コップなど使い捨て品は避け、マイ箸、マイ水筒などを持参する。		
燃えるごみの減量、紙類の分別(雑誌、ダンボール、新聞紙、その他の紙)に努める。		
庁内向け資料等はグループウェアでの掲示等を活用する。		
コピー機やプリンターの使用時は、両面又は縮小・集約等の機能を活用する。		
ミスプリントの裏紙は、用途上支障がない範囲で有効利用する。		
分別収集を徹底し、燃えるゴミの量を減らす。		

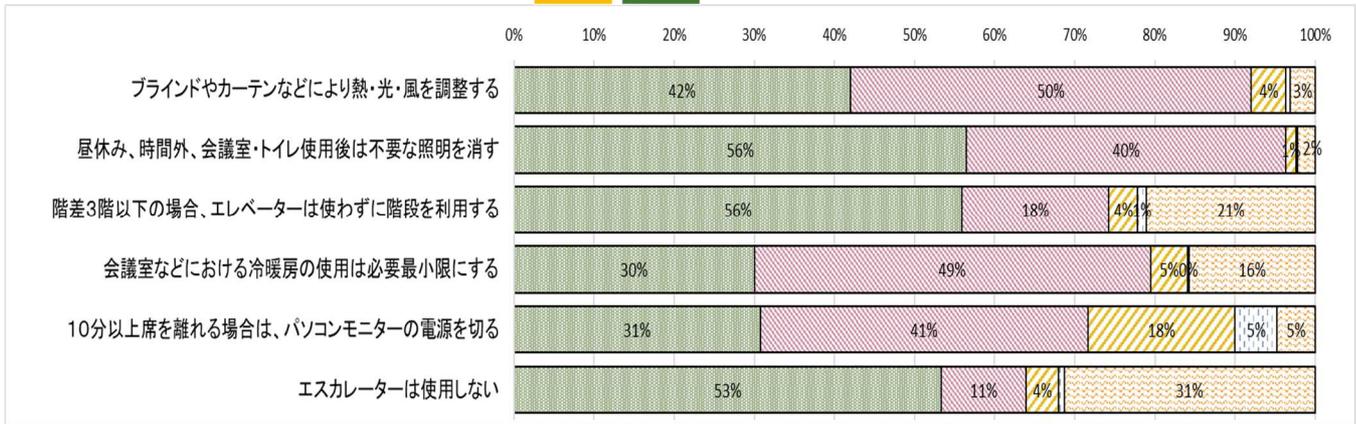
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



エコマネ茅野



①施設等のエネルギー使用量の抑制



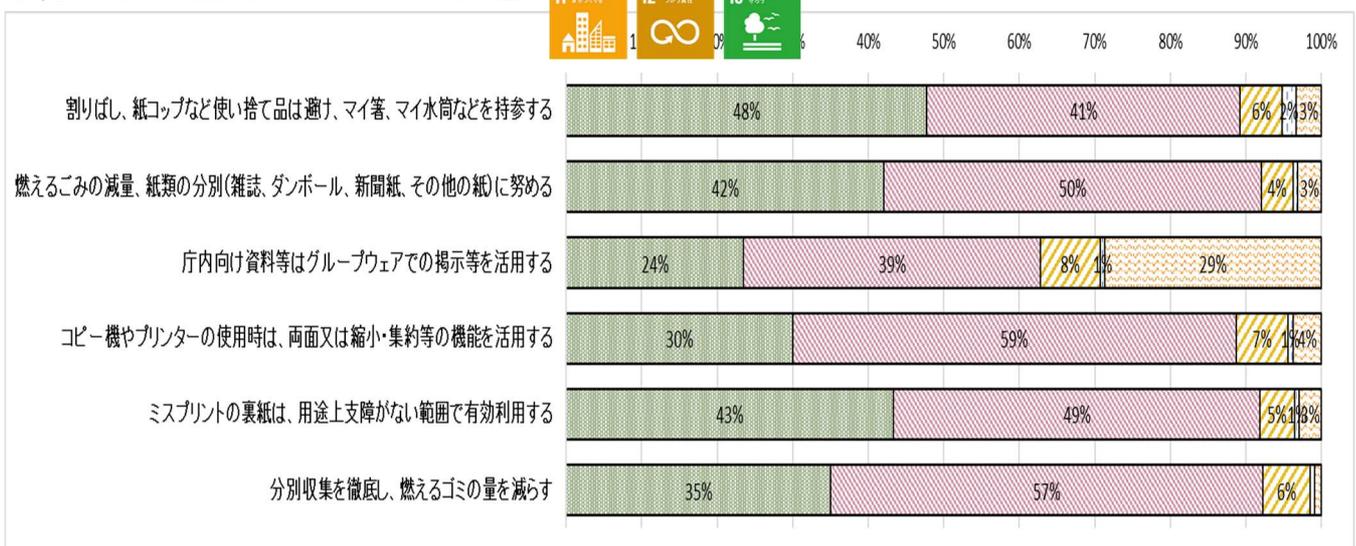
②自動車の適正使用



③水使用量の削減



④廃棄物の減量化・リサイクルの推進



部署取組目標

部署取組目標は、全庁的に共通して目指す共通取組目標と、部署ごとの業務特性に応じた独自目標を設定して取り組みます。

共通取組

国内外のエネルギーをめぐる社会情勢を踏まえ、今までも省エネ・節電の取組を実施してきましたが、エネルギー価格の高騰が続いている状況です。今一度現状を振り返り、省エネ(無駄のない適切なエネルギー使用)に取り組む必要があると考えられるため、令和5年度は、「電気使用量を前年比3%削減する」ことを全庁的に目指しました。また、重点目標達成のための具体的な取組(項目1～項目9)までを部署ごと選択して取り組みました。

重点目標

電気使用量を前年比3%削減する

項目1

ノー残業デイを徹底する。

部署名	目標達成のための取組	取組率
金沢地区 コミュニティセンター	会議等は、ノー残業デイ以外に設定する。	100%
美サイクルセンター	定時になったら声掛けをして定時退勤を促す	78%
湖東保育園	・水曜日の朝礼、夕会時にノー残業デイであることを確認し、定時に退勤できるよう意識を持つ。	77%
みどりヶ丘保育園	水曜日のノー残業デイを意識しホワイトボードに記載し定時帰宅ができるようにする。	80%
金沢小学校	金曜日を定時退勤日と設定し、18時までの帰宅を呼び掛ける。毎週丁寧に声をかけることで意識を高める。	82%

項目2

離席時にはパソコンモニターの電源を切る。

部署名	目標達成のための取組	取組率
総務課	毎月月初の朝礼で、取組の周知を行う。	30%
税務課	朝礼及び回覧板等での周知を図る。	80%
防災課	朝礼等、定期的に職員間で声をかけあう。	80%
消防課	部署の目標の周知のため、課内での回覧を定期的に行う。	80%
DX推進課	朝礼等で周知徹底を図るとともに、電源の切り忘れが無い様に隣同士お互いに確認をする。	80%
パートナーシップ まちづくり推進課	引き続き、みんなで声かけを行い意識づけを行う。	100%

ちの地区 コミュニティセンター	職員同士で声かけを行い、習慣となるようにする。	97%
湖東地区 コミュニティセンター	こまめに電源を切り、習慣となるようにする。職員間で確認する。	80%
環境課	席を立つ際には、モニター電源のボタンを押す。課内会議等で呼びかけを行う。	65%
地域福祉課	離席している職員の隣の職員も目を光らせて、パソコンモニターの電源が切れていなかったら電源を切る。	80%
中部保健福祉 サービスセンター	一日の中で離席が繰り返されるため、10分以上の離席時はこまめに節電をする。	91%
北部保健福祉 サービスセンター	職員間での意識付けをする(互いに啓発し合う)	80%
建設関連事業 推進課	改めて、目標の周知を図る。	80%
こども課	個人PC、及び Reams 端末に「離席時はモニター電源を切ること」シールを貼って啓発する。	80%
こども館	気温や湿度、館内利用者の人数に応じて調節し、節電を心掛ける。	80%
中大塩保育園	利用したら電源を切るよう一人一人が心かけた。離席が長い時は電源を切るようにした。	75%
玉川小学校	C4th等をもちいた全職員への周知し、授業中等で離席している場合はモニター電源を確実に切る。職員会等での周知を徹底する。	83%
永明中学校	授業等で職員室の席を離れる場合は、モニター電源を切るように職員に周知徹底する。呼びかけを定期的に行う。	90%
北部中学校	授業等で10分以上席を離れる場合は、モニター電源を切るよう職員会等で連絡する。	70%
東部中学校	職員会・日報などで周知徹底し、普段からモニター電源を切ることを意識づける。	80%
尖石縄文考古館	毎月月初の朝礼で、取組の周知を行う。	80%
議会事務局	朝礼で再確認する。	80%

項目3

残業時、照明点灯は必要最小限とする。

部署名	目標達成のための取組	取組率
財政課	引き続き周知徹底を行う。	80%
秘書広聴課	冬場は稼働する機器が増えるため、こまめな消灯、使用の節減に努める	80%
地域創生課	超過勤務をしている職員が消灯できる箇所は消灯するよう周知する。	92%
市民課	残業中における必要な箇所、不必要な箇所を適宜確認し、こまめに消灯できるよう心掛ける。	80%
米沢地区 コミュニティセンター	利用者への声かけの継続、職員間での意識共有を図る。	100%
豊平地区 コミュニティセンター	消灯を心がける。こども館職員も含めて、職員同士で声かけを行う。	100%
ゼロカーボン 推進室	18時30分の自然消灯を待たず、残業時に不要な部分の照明を消す。	80%

高齢者・保険課	帰宅時に声を掛け合い、必要な照明以外の消灯を確認する。	100%
東部保健福祉サービスセンター	残業を減らし、必要時も最低限の照明以外は消す。	93%
幼児教育課	超勤者のいない席の上やカウンターの電気は消す。	80%
米沢保育園	残業の際は各保育室での仕事は必要最小限として事務室で事務処理等行うように声を掛け合う。	83%
米沢小学校	残業時間は、職員室での勤務を原則とし、教室での電力消費を抑える。	84%
湖東小学校	残業時の照明は、自分の周りだけにし、特に他の部屋でついていることがないようにする。	90%
生涯学習課	会議室で残業の場合で事務室に誰もいない場合は、全消灯する。	100%
農業委員会事務局	昼休みは消灯し、終業後職員が不在の席は照明を消す。	100%

項目4

ウォームビズ、クールビズを実施し、空調機器の使用、自席でのストーブや卓上扇風機、加湿器の使用を抑制する。

部署名	目標達成のための取組	取組率
永明小学校	・暖房機の温度設定。 ・使用していない教室の電気を切る。 ・毎月電機消費量の見える化。	90%
宮川小学校	空調機器の温度設定、使用していない箇所・設備の切電、毎月の使用量の情報発信等を行う。	69%
八ヶ岳総合博物館	ウォームビズの徹底について朝礼や係会で毎月確認と周知を図る。	72%

項目5

空調設定温度は夏期 28℃、冬期 20℃を徹底する。(電気エアコンを使用している施設は、少し早めに運転開始し、寒暖差が小さくなるような空調運転と設定温度の徹底を実施する。)

部署名	目標達成のための取組	取組率
中大塩地区コミュニティセンター	冬期は加湿器などを使うようにし、寒暖差が小さくなるような空調運転と設定温度の徹底を実施する。	100%
中央保育園	室内に温度計・湿度計をおき、設定温度の徹底を図る。	80%
家庭教育センター	ストーブの温度設定を確認し、利用者にも無理のない範囲で周知する。	80%

項目6

事務室内の照明が常時必要な箇所、適宜消灯できる箇所を確認し、消灯できる箇所は消灯する。

部署名	目標達成のための取組	取組率
企画課	引き続き、朝礼等で周知徹底を図るとともに、電源の切り忘れが無い様に隣同士お互いに確認をする。	80%
泉野地区 コミュニティセンター	トイレや各会議室での電気消し忘れが無いよう、定期的に見回り点検を行う。	92%
健康づくり推進課	健診や相談等で使用するホール等は、使用後速やかに照明やエアコンを消す。	87%
西部保健福祉 サービスセンター	常時、消灯・節電に心掛ける。	100%
商工課	不在時や残業時には消灯を徹底し、カウンター等のこまめな消灯に努める。	100%
会計課	節電のため事務室内においても業務終了後は適宜消灯し節電に努める。	100%
おやすみ館	保育室、事務室ともに使用していない部屋の電気、およびエアコンをこまめに消す。	98%
ちの保育園	照明が必要ない時には消灯するよう貼り紙など利用しながら意識が持てるようにする。また、16時以降の事務や保育準備などは事務室で行うようにする。	83%
北山保育園	職員がいない部屋は昼夜関係なく積極的に消灯する。定期的に職員全員に声をかける。	88%
金沢保育園	事務室内の照明が必要でないときは消灯することを伝え合い、職員全員で取り組む。各保育室やトイレの照明は、使用していないときは消灯する。	75%
泉野保育園	引き続き、使用場所に応じてこまめに消灯する。	92%
中央公民館	毎日、昼当番が窓口の照明を残し、他は消灯する。	100%
図書館	昼休憩の際、自席の上の照明を消灯する。また離席時にPCの電源をきることを徹底する。	100%
スポーツ健康課	昼休みは事務室内の照明を一部消灯する。夜間や休日も消灯できる箇所は適宜消灯する。(窓口担当者と協力する)	93%

項目7

自然光を採用し、昼光のみで必要照度が得られる場合は、可能な範囲で消灯する。

部署名	目標達成のための取組	取組率
都市計画課	互いに周知を図る。	100%
宮川保育園	園内を見回り、可能な場所を確認し、消灯する。 事務室、保育室内に人がいない時は消灯する。	90%
豊平保育園	保育室内に人がいない時は消灯するよう再確認し、事務室などの共有の場所の消灯については職員会で周知したり貼り紙など利用しながら意識が持てるようにする。	75%
小泉保育園	事務室・各保育室を空ける場合は、消灯する。複数の担任同士声をかけ合い、意識して電気を消す。	80%
泉野小学校	トイレ、手洗い場、廊下、昇降口は、原則として昼間は消灯する。クラスの取組として、教室を空けるときは、短時間でも消灯する。	80%

項目8

退庁時は自席の上の照明を消灯する。また、パソコン・プリンター・電気ポット等の主電源を切る。

部署名	目標達成のための取組	取組率
玉川地区 コミュニティセンター	職員同士の確認の徹底	100%
北山地区 コミュニティセンター	今後も、習慣化するよう声かけを行う。	100%
農林課	朝礼等で周知を行い、退庁時に係長が確認する。	80%
観光課	朝礼内で呼びかけをし、課内で徹底する。	83%
建設課	人任せにせず、声を掛け合い電源を切るよう努める。	79%
水道課	朝礼等で周知徹底を図る。 主電源を切ることが係ごとに周知する。	80%
学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな電源 ON,OFF を心がける。 ・共通機器の電源の確認を一人ひとりが意識するようにする。 ・朝礼時に呼びかけをする。 	95%
豊平小学校	見えるところに目標を掲示して、常に意識ができるようにする。気が付いた人はすぐに実行。	80%

項目9

電気ポット等電気製品の使用時間を短縮する。(電気ポットの使用時間を決め、保温をなくす等)

部署名	目標達成のための取組	取組率
宮川地区 コミュニティセンター	引き続き、使用時間を短縮するため電気製品を使用しない時はコンセントを抜く。	100%
宮川第二保育園	職員に共通目標の周知、意識統一を図る。	75%

独自取組

部署ごと業務特性に応じた目標を設定し、PDCAサイクル(Plan『目標を立てる』→Do『実施する』→Check『点検する』→Act『改善する』+フォロー『所属長からの指摘・指導等』)により取組を進めています。

実施状況の評価は、A(非常によく取り組んでいる)、B(よく取り組んでいる)、C(改善の余地がある)、D(もう少し頑張っ欲しい)によりチェックしています。

総務課			
目標		目標達成のための取組	
毎週水曜日のノー残業日を徹底し、電気使用量の削減に努める。		部課長会議やグループウェア等で、ノー残業日の徹底を周知する。	
空調の温度設定を抑えるため、適切なクールビズを実施する。		9月をもってクールビズ期間が終了したため、来年度以降の取組について検討する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
70% 評価	離席時にパソコンモニターの電源を切めることは、意識しなければ難しいので、朝礼等で定期的に周知する必要がある。ノー残業日とクールビズについては、概ね定着しているもので、年度当初など再周知を定期的に行う。	フロア内の目につく箇所に、離席時のパソコンモニターの電源オフを確認する用紙を貼る。	目標1 以外にも達成できなかった月がありました。 目標1 モニター電源オフによる効果がわかるとより意識しやすいと考えます。 目標2 定期的な全庁周知は達成。(全庁周知にあたっては職務の負荷分散と事務見直しを今後も周知) 目標3 同上 (全庁周知にあたってはクールビズによる働きやすさと身だしなみとしての意識啓発を今後も周知)
C			

財政課			
目標		目標達成のための取組	
庁舎電気使用量を削減する。		トイレ以外にも人感センサーを設置できるか検討する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
90% 評価	LED化や人感センサー等の設備を改修すれば効果が高いと感じました。	市財政が厳しい中ですが予算措置等を行う。	庁舎照明等のLED化工事は大規模工事であったが、業務に支障が及ばないよう計画を立てスムーズに着工ができた。このことにより電気使用料の削減が達成できた。目に見える形で環境改善がされたことにより職員の環境保護意識が飛躍的に高くなった。
A			

税 務 課

目標		目標達成のための取組	
退庁時、各係において照明、電気ポットのオフを徹底する。		朝礼及び回覧板等での周知を図る。	
退庁時、各個人においてパソコンの電源のオフを徹底する。		朝礼及び回覧板等での周知を図る。	
最終退庁者は、プリンター及びコピー機の電源のオフを徹底する。		朝礼及び回覧板等での周知を図る。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
72% 評価 B	PC等個人の電源及び照明ポットについては、概ね取組が定着しています。一方で、プリンター、コピー機などの共有物については全体朝礼、回覧板での周知では十分な成果が得られなかったが、各係長を通じて係朝礼で周知してからは取組の実施率が高まったと感じます。いかに自分事としてエコマネを共有できるかが課題だと感じました。	エコマネ実践の呼びかけを継続していくしかないと思います。	概ね取組が徹底されている。新年度はコピー機、プリンター等の退庁時の電源オフの取組強化を目指してください。

防 災 課

目標		目標達成のための取組	
賞味期限間際の災害備蓄品(食糧)を有効活用をする。		消費期限が迫っている備蓄品について、訓練やフードドライブ等の予定を把握し、払い出しの計画を立てる。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
92% 評価 B	備蓄食料の消費期限を管理することが防災倉庫内の整理にもつながった。	引き続き、備蓄品の管理を行い、ただ破棄することがないように努める。	備蓄食料の把握・有効活用の取組が、防災体制の強化だけでなく、SDGsの取組につながっており評価できる。引き続き取り組む必要がある。

消 防 課

目標		目標達成のための取組	
裏紙印刷や両面印刷、縮小・集約印刷の徹底による紙使用量の削減及び再利用封筒の利用促進		部署の目標の周知のため、課内での回覧を定期的に行う。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価 B	目標1及び目標2の課内での回覧を毎月行う事で、職員一人一人が日々意識して目標に取り組むことが出来、実施状況も向上したと感じました。	職場目標の回覧を続け、職員の更なる意識付けを図っていきたいです。	年間を通し、取組目標について意識しながら実施できた。PCについては、こまめな電源ON・OFFを行った。

秘書広報課

目標		目標達成のための取組	
課内でのごみの分別、再利用に努める。		引き続き、分別・資源の再利用を意識する。	
紙使用量等の節減に努める。		引き続き使用料の節減をするとともに、紙資料のデータ移行を進める。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー (指摘・指導等)
80% 評価	10月～11月はまちづくり懇談会の最盛期だったため、紙の使用量が増えた。ただ、なるべく無駄が出ないように資料などは一気に刷らず、各地区の出席の様子を見ながら紙の節減に努める事はできた。ゴミの分別については、分別意識が一定のレベルに保つことができていた。分からない時は課内で相談し合い、安易に捨てることのないよう心掛けられた。電気についてはこまめな消灯、省エネなど課内で意識してできたと感じている。	まちづくり懇談会で電子申請でのアンケート回答数も増えてきていることから、当日電子申請での回答を案内するなどなるべく紙を使わない方法に切り替えていきたい。	今後も資源の有効活用や、エネルギーの節減を意識して取り組んでください。
B			

企画課

目標		目標達成のための取組	
退庁時に電気機器類のコンセントを抜く。		引き続き、朝礼等で周知徹底を図るとともに、最後にフロアを出る人は最終確認をする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価	前期に職員同士で声掛けをして意識付けを行ったことにより、より習慣化することができた。	見直しを要する事項等は特になし。	目標達成に向けて、職員間での意識付けを行えた。消灯に関しては、今後も執務への影響を配慮しながら、メリハリをつけた取組を続けてほしい。
A			

DX推進課

目標		目標達成のための取組	
退庁時に電気機器類のコンセントを抜く。		朝礼等で周知徹底を図るとともに、最後にフロアを出る人は最終確認をする。	
内部打ち合わせにホワイトボード、大型モニタを用いることでプリンタ、各自のモニタなどの電気使用量を削減する。		係内打ち合わせの際に互いに声をかけあい徐々に習慣づける。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価	概ね計画通りに実施できた。	特になし	前期は離席時のモニター電源を切ることを忘れることが多かった反省が、後期は改善できたことは良かった。これからも意識して取り組んでください。
B			

地域創生課			
目標		目標達成のための取組	
事務のペーパーレス化の推進		会計伝票の控えを電子ファイルにより保存する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
98% 評価	<p>前期に引き続きこまめな消灯に心掛けた。自分達の課だけではなく、同じフロアの他部署について広めに電気がついていることもある。</p> <p>会計伝票の電子保存については、定期監査で見られることはなかったが、監査事務局とも調整リモートPCを持参し見せられるように準備した。準備時に一部保存漏れが確認できた。</p>	<p>残業時は周りを見渡し消せる範囲がないか確認する。また、帰る時は自分の関周辺は消灯を徹底する。</p> <p>会計伝票の電子保存漏れについて、定期監査時には確認するが、もう1回程度漏れがないか確認が必要。</p>	<p>目標は概ね達成できたが、消灯についてはフロア内の他課の状況を定期的に確認を行うことも習慣にしたい。</p> <p>次年度は、現在行っている余白処理の電子決裁に併せて回覧等も工夫する中でペーパーレスを進めたい。</p>
B			

市民課			
目標		目標達成のための取組	
資源物の再利用を推進する。		ひとり一人が資源分別を徹底して資源物再利用を心掛ける。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価	<p>照明スイッチのところへ節電の注意書きをしたところ、職員が率先して必要最小限になるよう調整をするようになった。</p>	<p>照明スイッチの注意書き以外にも、パソコンやプリンターなど節電できるものは、こまめに電源を切るよう注意を促す。</p>	<p>パソコン等機器が多い職場なので、こまめにスイッチをOFFにしましょう。また、紙を多く使う職場なので、再利用できる紙は積極的に利用しましょう。</p>
B			

パートナーシップのまちづくり推進課			
目標		目標達成のための取組	
イベント開催時にできる限りゴミの出ない方法を検討し、環境負荷の少ない実施に努める。		11/19のイベントに向けて、改善策を検討する。	
グリーン購入に努めます。		消耗品を注文する際に、複数のカタログを確認する。	
事務処理に係る紙使用量の削減に努めます。		書面で行っている回覧板をグループウェアで実施する。印刷を行う前にプレビュー画面で確認する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
83% 評価	<p>書面で行っている回覧板をグループウェアで実施する取り組みを始めたが、個人が確認する回覧件数が増えてしまい大変だった。</p>	<p>回覧板の運用方法を全員で考えていく。</p>	<p>ひと・まちプラザの事務室はオープンな設計のため、暖房の効果が得られにくい状況であり、重点目標について積極的に取り組むことができなかった。個々に衣服の調整を行い気温の変化に対応していきたい。</p> <p>回覧の活用は積極的に行えたのは良かった。無理に回覧板を活用するのではなく、ケースバイケースで書面回覧も活用しても良いと思う。皆で考えていこう。</p>
B			

ちの地区コミュニティセンター			
目標		目標達成のための取組	
館内の電気をこまめに消す。		貸館時、団体へ消灯の声かけを行う。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー (指摘・指導等)
100% 評価	目標 1 職員間で声かけの成果が出ている。 目標 2 夜間使用団体にトイレ等の消し忘れがたまに見受けられる。	目標 1 職員間で声かけのを継続して行う。 目標 2 体育館使用団体へ調整会議において注意喚起を行う。	現在の取組みを維持し、見直しが必要な場合は、その都度対応してください。
B			

宮川地区コミュニティセンター			
目標		目標達成のための取組	
電気、換気扇の消し忘れ対策		貸館時に照明等の消し忘れがあるため、貸出時に声かけをする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
98% 評価	貸館時に、会議室やトイレの照明や換気扇の消し忘れがあった。	貸館時に会議室やトイレの照明や換気扇の消し忘れがあるため、貸出時に利用者へ声かけをする。	日々の意識的な取組が大切です。引き続き取り組んでください。
B			

米沢地区コミュニティセンター			
目標		目標達成のための取組	
館内の電気をこまめに消す。		こまめな点検を実施する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100% 評価	こまめに電気を消すことを意識した。	継続して、省エネの意識を持つ。	継続した活動が結果を出していくと思います。今後も継続した活動をしてください。
A			

豊平地区コミュニティセンター			
目標		目標達成のための取組	
館内の電気をこまめに消す。		貸館時、団体へ消灯の声かけを行う。 特に土日を使用する団体には、鍵の受け渡し時に周知します。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100% 評価	厳寒期には、利用者の利便性も考えながら暖房効率を考えていきたい。	省エネについての声かけを行いながら、利用者の意識改革につなげていく。	継続した意識改革が必要なので、今後も声かけ等を行っていく。
A			

玉川地区コミュニティセンター

目標		目標達成のための取組	
庁内の節電の徹底		貸し館申請時及び、貸し館当日に代表者への周知徹底	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80%	咄嗟の退庁時の対応ができない。	意識付け	概ね良好であるが、より一層の意識づけが必要である。
評価			
B			

泉野地区コミュニティセンター

目標		目標達成のための取組	
施設内の節水を心がける。		張り紙で周知するとともに、定期的に電気の見回り点検と同時にトイレの水道や調理室水道の閉め忘れを確認する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
85%	冬場になると調理室の水道は閉めたままにするのと、事務所は毎晩水道元栓を閉めて帰るので、節水は心がけやすかったです。電気の消灯に関しては、1月になり地区の役員が変わったので、周知が行き届かず消し忘れが何件か発生してしまいました。	1月になったら新役員の方に周知していきます。	今回の反省を次回にきちんと繋げていければいいと思います。
評価			
B			

金沢地区コミュニティセンター

目標		目標達成のための取組	
施設内の節水に努める。		各水道の蛇口を適切に閉めてもらうよう、貼紙等で施設利用者にも呼び掛けていく。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100%	サーモスタットを利用し、トイレ暖房の設定温度を5度にすることで、凍結しない最低限の暖房で節電に貢献した。	目標達成のための取り組みに効果が見られた。今後も継続して、行っていくこととする。	今後も日常の中で意識して取組を続けてほしい。
評価			
B			

湖東地区コミュニティセンター

目標		目標達成のための取組	
空調機器の使用を抑える。		冬期は、カーテンを開け日光を取り入れる。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
88%	施設の構造上、暖房機器使用の節約は難しいと感じた。パソコンモニターの電源を切ることは、気にかける習慣にはなってきた。	引続き職員間で声かけをし、習慣としていく。	今後も日常の中で職員間の声掛けを大切に、習慣として欲しい。
評価			
B			

北山地区コミュニティセンター

目標		目標達成のための取組	
ポットの利用時間短縮		子ども達がバスに乗り帰る時間があるので、その頃に電源を切ってもよいか声掛する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー (指摘・指導等)
55% 評価	退庁時の電源を切るとは帰る時のチェックとして忘れず行えたと思われるが、ポットの利用時間はなからできたが、こどもたちが来ない日などは忘れがちだった。	今後も職員で帰りの際は電源のチェックを行い、またポットについては夕方になったら、切れる様に声かけしていきたい。	今後も続けて電源を切るよう心がけていただきたい。
B			

中大塩地区コミュニティセンター

目標		目標達成のための取組	
電気を最小限にする。		電気の消し忘れ等の確認をする。	
グリーンカーテンをつくり、夏期の空調機器の使用を抑制する。冬期は効率的な空調機器を使用する。		冬期は加湿器などを使うようにする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー (指摘・指導等)
100% 評価	ストーブの温度設定を20℃にし、加湿器を使いながら寒暖差を小さくできた。電気については、利用者の皆さんにも協力してもらい、念のため利用者が帰った後確認に回ったりした。	引き続き気にかけるように継続したい。	継続して続けてもらいたい。
B			

環 境 課

目標		目標達成のための取組	
ブラインドを活用した温度調整による快適性向上と空調の節減		ブラインドは日中は上げることを基本とし、日射取得率を高め、暖房効果を高める。	
退庁時は自席の上の照明を消灯する。また、パソコン・プリンター・電気ポット等の主電源を切る。		共有のプリンタ・電気ポット等は業務終了に合わせて主電源を切り、個人のパソコンは各自で管理し、照明は最終退出者が確認する。	
ノー残業デイを徹底する。		水曜日には業務終了後に速やかに帰宅し、水曜日の夜には会議は開催しない。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
95% 評価	目標1に関しては、達成率が低い状況であった。目標2、3に関しては、課員全員が習慣化することができていたので、達成率が高かった。目標4に関しては、他部署や市民団体との会議で水曜日に残業を行ったケースがあった。	パソコンモニタの電源切り忘れを減少させるために、電源を切っていない人がいれば声を掛けるようにします。	目標は概ね達成できましたが、パソコンのモニタの電源については徹底することができませんでした。朝礼の際に気付いたことを報告し、エコマネの意識を強く持つようにしていけばよかったと反省しています。来年度は、離席の際、帰宅の際に必ずモニタの電源を切るクセを付けるように啓発していただきます。
B			

ゼロカーボン推進室

目標		目標達成のための取組	
全庁的な省エネを推進する。		エコマネ通信(GW 掲示板)を活用して、省エネになる取組を職員向けに周知し、省エネを推進する。	
日中においても、自然光を活用して必要最小限の照明使用にする。		自然光で業務に支障のない照度が得られる場合は、その箇所を消灯する。また、会議等長期不在時にも消灯する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
79% 評価	・全庁的な前期の取組結果から、後期はGW 掲示板を活用して共通取組項目及びモニターの電源について、毎月周知し、省エネを推進した。 ・昼休みの消灯は徹底できたが、後期は自然光が眩しくブラインドを閉める時間もあり、業務中の消灯はできなかった。LEDの人感センサーで調節されていたため、最小限の照明利用はできた。	・エコマネ茅野の認知度が、アンケートでは80%だったが、内部監査の対象になって初めて知った等の意見もあったため、会計年度任用職員も含めた全職員に認知されるように周知していく。	担当課として職場の取組みは概ね達成できた。 全庁的にトイレ等の人感センサーの有る部分は良いが、手動スイッチの箇所では消し忘れ等が多く、今一度呼び掛けが必要である。
B			

美サイクルセンター

目標		目標達成のための取組	
不要な照明等は消灯し、電気量を削減する。		定期的に施設内を巡回し、不要な照明や機器の電源をOFFにする。	
プラスチック類の資源化に対する啓発活動を行う。		ホームページの内容を見直し、分別方法を容易に探せるようにする。	
環境意識の向上を図るため、分別活動の取り組みについての啓発活動(地区別説明会の開催)		説明会で使用する資料や展示物を見直し、分別に対する参加者の理解が深まるようにする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
60% 評価	プラスチックの分別方法に関するホームページの見直しについては、不十分であったため、今後見直していきたい。	プラスチック類を含め、分別に関して問合せ多い品目について、ホームページで分別方法を掲載していく。	自らが分別した資源物がどう処理され、最終的に何になっているのかなどなどの情報を発信することで、住民の分別意識がさらに高まる可能性があります。必要な情報発信に努めていただきたい。
C			

地域福祉課

目標		目標達成のための取組	
昼休みや残業時、照明点灯は必要最小限とする。		窓口にお客様がいない場合には、昼休みは自動消灯のままとする。残業後は係全員が帰宅する場合はその島の電気を最終帰宅者が消す。	
ウォームビズ、クールビズを実施し、自席でのストーブや卓上扇風機、加湿器の使用を抑制する。		ウォームビズを実施し、電気ストーブの代わりにひざ掛けの使用やカーディガン等の着用を可とする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
87% 評価	離席時のパソコンモニターの電源オフについては、100%ではないが多くの職員が意識して取り組んでいた。1階北側事務室の真冬の冷え込みは、ひざ掛けやカーディガンでは寒さをしのぐことができないレベルであり、業務時間内は窓口の来庁者も寒そうにしている姿が見受けられた。	離席時のパソコンモニターの電源オフについては、来年度以降も隣の職員等も確認するなど、日常的な取組にしていきたい。1階北側事務室の真冬の冷え込みにおける対策としては、職員の健康に配慮すると電気ストーブの使用もやむを得ないと思われる。	朝礼、職場会議等で取組目標を定期的に周知し、職場全体での取組意識の向上に努めていただきたい。
B			

高齢者・保険課

目標		目標達成のための取組	
離席時にはパソコンモニターの電源を切る。		10分以上席を離れる際は、モニター電源を落とすよう声を掛け合い確認する。また、モニター電源が付いたまま離席時間が30分を超えた場合は、隣の席の職員等が電源を切る。	
会議資料は原則両面印刷。職員の回覧は原則イントラネットとし、印刷する場合は裏面使用もしくは割り付け印刷等を心掛ける。		リサイクル用紙(裏紙)を、プリンター横に設置し、使用しやすいようにする。	
Do(実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
90% 評価	<ul style="list-style-type: none"> 不要な照明については、個々が意識して消すことができています。 離席時のPCモニターについては、窓口対応等不意に長くなる時などに消し忘れがある。 裏紙使用は利用しやすい状態に設置できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 離席時間が長くなりPCモニターが付いている場合は、課内全員で意識をすよう呼び掛ける。 	引き続き、目標の達成に向けて課内の周知を図る等の対策をお願いします。
B			

健康づくり推進課

目標		目標達成のための取組	
ミスプリントの裏紙は、用途上支障がない程度で有効利用する。		ミスプリントの用紙をコピー機のそばに配置し、使用できるようにする。	
空調設定温度は、夏期 28℃、冬期 20℃とする。		事務室内のエアコンのリモコンに設定温度のシールを貼り周知する。	
ゴミは、分別することを徹底し、燃えるゴミの削減及びリサイクルに努める。		ゴミを種類ごとに分別しやすいようにゴミ箱にわかりやすい表示をする。	
Do(実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価	<ul style="list-style-type: none"> 暖房を使用することが多くなり、事業終了後において暖房の消し忘れが見受けられた。容器包装プラの分別は概ねできているが、時折可燃ごみに混ざっていることがあるので、周知が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼など、定期的に周知をするとともに、当番が業務終了後、館内の施錠確認のときに、エアコン、暖房の最終確認をする。ゴミ箱を分別するように表示する。 	できるだけ電気料を節約するように、全員で取り組みました。ごみの分別については、職員一人ひとりが取り組むことができるよう、引き続き取り組んでいきたいと思ひます。
B			

東部保健福祉サービスセンター

目標		目標達成のための取組	
照明点灯時間の削減		こまめな消灯を行う。	
Do(実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
92% 評価	<ul style="list-style-type: none"> 残業時間も減らすよう心がけたが、緊急対応が入ると事務所に残るという状況になった。皆で声をかけながら、消灯に心がけたが、100%の実施とはならなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 天候を見ながらだが、こまめな消灯を心がけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 節電・消灯は、皆の協力が必要です。今後も職場全体で取り組めるよう努力してください。
B			

西部保健福祉サービスセンター			
目標		目標達成のための取組	
タイマーや節電モードを活用した節電を徹底する。		常時、節電を意識する。	
館内の施設毎に分散している電気ポットの使用時間を工夫したり使用箇所を統合する。		常時、節電を意識する。	
お昼など休憩時間の消灯や使用していない時のトイレの消灯を徹底する。(窓口や暗い廊下等は除く。)		常時、消灯・節電を意識する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100% 評価 A	3施設に共通して常時、消灯・節電の意識のほか、ゴミの減量・資源化にも意識が定着した。	引続き継続する。	節電に関しては、リバーサイドクリニックや社会福祉協議会も巻き込んで、施設全体で取り組んでいた姿があり、西部保健福祉サービスセンターがお手本になっていました。ぜひ次年度も継続していただきたいと思っております。

中部保健福祉サービスセンター			
目標		目標達成のための取組	
紙の有効活用		廃棄紙でゴミ箱を作り、活用する。	
昼食時は、照明点灯を半分にする。		窓口以外の場所は、照明を落とす。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100% 評価 B	慌ただしくして、そのまま訪問等外出するときにはパソコンの電源を落とせないと気があったが、昨年よりかなり定着した。常に個人個人が意識していることが大事と感じる。	個人個人が意識することを継続したり、朝礼、職場会での周知する。	毎日の積み重ねが大切だと思います。引き続き取り組んでください。

北部保健福祉サービスセンター			
目標		目標達成のための取組	
昼休憩時の事務所内の消灯の励行(窓口照明は除く)		引き続き、当番制により実施する。	
センター内の使用していない空間の消灯の実施		定期的に巡視する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
88% 評価 B	年間の電気使用量を月ごと一覽で比較したところ、令和5年度は、令和4年度に比して、使用量が減少し電気料も減少してきた。重点目標としての「使用量3%減」では、令和6年2月末の実績で、8%減となっている。(令和5年2月末合計53,835KWh、令和6年2月末合計49,505KWh)センター全体では、高齢者の使用する施設(診療所、デイサービスセンター)のため、夏場のエアコン利用や冬場の暖房器具の使用は、気候により使用頻度が左右され毎年一定とはいかないまでも適切な使用に各部署とも心掛けている。	空調設備の適切な使用に心掛けるとともに、日頃は、電気器具の無駄な使用を軽減していく。	高齢者の使用する施設のため使用量が気候に左右されると思いますが、引き続き空調設備の適切な使用に心掛けてください。

農 林 課

目標		目標達成のための取組	
離席時にパソコンモニターの電源を切る。		朝礼等で周知を行い、離席時に声を掛け合う。	
課内回覧文書をGWの回覧機能を活用し、紙使用量の削減を行う。		GWの回覧機能の活用の推進を行う。	
紙類(雑誌、ダンボール、新聞紙、その他の紙)の分別を正確に行い燃えるごみの減量を図る。		分別ボックスの設置を行い、ダンボール、新聞紙等分別回収を適切に行う。	
Do(実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
75% 評価 B	退庁時、主電源を切めることは概ね達成できている。 業務時間内の離席時モニターの電源を切ることについては、朝礼等で周知を行い実施率が高まった。	業務時間内の離席時モニターの電源を切ることについては、朝礼等で周知を行い実施率が高まったが、さらに達成率向上に向けて朝礼等で、周知徹底を図る。	共通、独自目標共に課員が共有認識のもと、取り組むことができたと思います。

商 工 課

目標		目標達成のための取組	
離席時にはパソコンモニターの電源を切る。		パソコンモニターに「離席時は電源を切る」旨を貼って注意喚起し、こまめな電源 OFF に努める。	
残業時、照明等は必要最小限とする。		残業時、フロア全体の照明を付けることがあるが、フロアを確認して必要な個所のみとし、退庁時は自席上の照明を消灯する。	
ノー残業デイの徹底を図る。		朝礼等でノー残業デイであることを徹底し、できるだけ6時には帰宅するように努める。	
Do(実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
93% 評価 B	概ね達成されている。 「ノー残業デイ」をグループウェアの課のスケジュールに登録して目で見て認識できるようにしていたが、登録を忘れることがあった。	残業時、フロアを確認して必要な個所のみ照明を付けるか、所属のみ照明を付けるようにする。 「ノー残業デイ」のグループウェアの課のスケジュール登録をまとめて登録し、朝礼で伝達する。	共通、独自目標共に課員が共有認識のもと、取り組むことができたと思います。

観 光 課

目標		目標達成のための取組	
紙類(雑誌、ダンボール、新聞紙、その他の紙)の分別を正確に行い、燃えるごみの減量をする。		過剰包装しないように、されないようにする。	
ゴミ分別の徹底		分別ボックスを用意して分別への意義付けを行う。	
Do(実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
95% 評価 B	課の全体として意識が浸透されていると感じられた。日頃より職場内の整理整頓を心掛け節電・ゴミの減量化についてある程度達成できていると思われる。	複数人で確認するなど、さらなる意識改革をしていきたい。	日頃から当たり前のように取り組んでいることでも、ついっかり忘れることもあることから、日常からの細かい気づきや目標を職場内で確認し合い、意識の向上に努めてください。

建設課

目標		目標達成のための取組	
工事の際に、リユース、リサイクル材料を使用する。		継続するよう設計書へ記載し、確認する。	
業者からの提出書類を減らす。		事業を行う上で、相手方と必要か否かを協議し、不要と判断したものについて削減するよう取り組む。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
84%	工事にリユース、リサイクル材料を使用することについては、取り組んでいるので新たな取組みを検討していく。	目標について、課内の職員全員が意識をもって取り組めていない所が見受けられるので、課内や係内で周知していく。	全員が取り組めていない所については、今後、課内や係内で周知し、意識するよう一層の努力をしてください。
評価			
B			

建設関連事業推進課

目標		目標達成のための取組	
退庁時、電気ポットの電源を切る。		最後に事務室を出る者が確認する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100%	短時間の離席時に、モニター電源を切り忘れることがあった。	小さなことでも節電になることを意識し、継続して取り組む。	環境活動の実践には個々の心掛けが大切になります。今まで以上に注意して継続してください。
評価			
B			

都市計画課

目標		目標達成のための取組	
残業時、照明点灯は必要最小限とする。		互いに周知を図る。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
90%	概ね取り組めた。	係の最後の帰宅者は、確実に消灯を行うよう習慣づける。	継続して実施するよう努力しましょう。
評価			
B			

水道課

目標		目標達成のための取組	
運転の際には、エコドライブ(急発進・急加速はしない、エアコンの必要最小限の使用に努める)を実施します。		朝礼等で周知徹底を図る。エコドライブの実施とあわせて、最短のルートを選択、使用する車両の台数・車種を考慮する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100%	照明の消灯は、概ね取組みができました。その他の電源を切ることについては、全員での取組みができませんでした。エコドライブについては、概ね取組みができました。	その他の電源を切ることは、改めて係ごとに周知し職場での意識を高めるようにします。	課内全員が共通の認識で取組みをするために、係ごと周知・確認することで意識向上に努めてください。
評価			
B			

会 計 課

目標		目標達成のための取組	
冷風を効率よく事務室内の必要箇所に送ることで、冷房機の適正な利用に努める。		暖房効率を上げるために、ダクトの利用やブラインドのこまめな開閉を行う。	
退庁時にパソコン・プリンター・電気ポット等の主電源を切る。		退庁時に、パソコン、プリンター、電気ポットの電源を切ることを徹底することを継続する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100% 評価 A	パソコン、プリンター等のシャットダウンについては各自気を付けて取り組むことができたが、電気ポットについては切り忘れ等無いよう、確実に電源を切るようにする。	当番の職員が業務終了後、コンセントから抜くようにした。また、保温時の消費電力も最小限にするために、お湯は満水にせず必要量のみとする。	日々の小さな取組も1年続けると、大きな成果につながります。全体を通しておおむね目標を達成することができています。この調子で引き続き取り組みましょう。

こ ども 課

目標		目標達成のための取組	
会議の際は、会議時間の短縮に努め、照明の使用時間を削減する。		会議の際に、進行役の方(市民の方)にも本取組の趣旨を伝え、会議時間をコントロールしてもらう。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価 B	目標1:個人の意識付けの問題なので、啓発が大切 目標2:市民の方を交えた会議の場合、会議時間の短縮が難しいが、進行の方に根気強く時間をお願いをすることで、理解を得られるようになってきた。	目標1:意識付けのために、現在の温暖化の状況や、モニターを消すことでどのくらい電気使用量に変化が出るかなど、目に見える形で、全員に知ってもらえればいいのではないかと。 目標2:引き続き、市民の方と協力して行っていく。	目標達成に向けて、工夫しながら取り組んでいました。今後も定期的に課内や係内で節電の呼びかけ、更なる意識づけを行うと共に、市民の方にも協力いただきながら取り組んでください。

こ ども 館

目標		目標達成のための取組	
自然光を採用し、昼光のみで必要照度が得られる場合は、可能な範囲で消灯する。		明るさの確認を行い、自然光を利用できる時は節電を行う。	
加湿器(扇風機)等の使用を調節する。		夕会等で周知し、声を掛けあう。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
82% 評価 B	館内の消灯については、コーナーごとの点灯となっており、コーナー内で間引きして消灯することは困難な状態だった。蛍光灯が残っている箇所は間引きができるため必要に応じて調整することができた。	目標②の自然光を採用し、可能な範囲で消灯することについては館内が広いので難しいが、絵本コーナーについては寒冷紗を撤去したため利用者の状況を見て消灯をするようにする。 扇風機の電源スイッチや、扇風機本体を定期的に点検や清掃を実施していく。	PCのモニターのOFFについては、全職員で声を掛け合っていることができていた。これからも、意識して節電に心掛けてほしい。

幼児教育課

目標		目標達成のための取組	
残業時は、電気ポットの電源を切る。		電気ポットのうち一つは、5時30分までに、掃除当番がコンセントを抜く。	
離席時にはパソコンのモニターの電源を切る。		毎月初旬(1日)に、朝礼で声かけをし、職場全体で取り組めるようにする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
61%	離席時にパソコンのモニターの電源を切ることを心がける職員は多かったが、全体の取組とするための声かけができなかった。	課全体で取り組むために、グループウェアの閲覧板を活用し、職員に意識付けをする。	目標に向けて工夫しながら取り組んでいました。定期的に職員同士が声かけをすることで、更に意識して取り組めると思います。
評価			
B			

おやすみ館

目標		目標達成のための取組	
ゴミの分別を徹底し、燃えるゴミの減量をする。		ごみをひとつにまとめたり、小さくして捨てる等工夫していく。	
紙の使用量の削減に努める。		印刷ミスをなくす。(必要枚数の把握、確認) 裏紙を利用する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
99%	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が年々増え、全室利用することが多かったため、電気代は増えてきているが使用していない場所はこまめに消すようにお互いに声掛けをすることを心掛けた。 ・印刷する時はよく確認し、ミスすることを減らすことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙、ゴミ、燃料費等利用者増加に伴って増えてきているが、必要のない時はこまめに消すように互いに声を掛け合うようにする。 ・冬は難しいが、緑のカーテン等自然物を使って節約できることを見つけていく。 	新型コロナウイルス感染症が5類となり、利用者も増加したことから、電気使用量等の大幅な削減はできなかったが、節電等の意識づけはできているので、子どもの安全・安心を第一に継続してほしい。
評価			
B			

ちの保育園

目標		目標達成のための取組	
ごみの分別を徹底し、可燃ごみの削減をする。		分別が行えるようごみ箱を明確にしたり、職員が意識を持てるよう職員会などで周知を行ったりする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
92%	<ul style="list-style-type: none"> ・照明が必要ない時には消すよう努めていたが、気持ちに余裕がなくなってくると、消し忘れがあることはなかなか改善されない。後期も、16時以降は、必要のない限り、事務室で仕事をこなした。 ・分別に関しては、忙しくなってくると丁寧に行えなくなってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼・夕会や、職員会に於いて、全職員に定期的に周知を行い、意識付けを行う。 ・分別が行えるよう、引き続きごみ箱を明確にしたり、周知を行う。 	職員に周知することで意識的に取り組んでいるが、忙しくなり、気持ちに余裕がなくなると忘れてしまうことが多いため、定期的に周知を行い、気づいたときに個々に声をかける。
評価			
B			

宮川 保 育 園

目標		目標達成のための取組	
電気の適切な使用をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンの適切な温度設定での利用をする。 ・電気ポット等使用しない時は電源を切る。 	
紙の使用量の削減に努める。		<ul style="list-style-type: none"> ・ICT化に伴い、お便り等紙ベースでの配布を希望者のみにする。 ・裏紙使用を徹底する。 ・会議はタブレットを使用する。 	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
78%	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋を空ける際の消灯の習慣がついてきている。 ・電気ポット、コーヒーメーカー、PC、タブレットなど使用しない時の電源を切ることができた。 ・寒い日はFFとエアコンと使い分けながら使用することができたが、どちらもついていたたり、消し忘れることもあった。 ・会議のタブレット使用、お手紙の配信が定着できた。資料等も必要の有無を考えながら作るよう心掛けることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電気の使用方法、エアコンの使用マニュアルなど、繰り返し確認し徹底していく。 ・紙の使用は、必要の有無、代用のできる素材はないかなどその都度検討しながら最低限の使用にできるようにする。 	タブレット、パソコン等の電源を使用しない時にはこまめに切るようにしたことや、電気ポットの使用時間を減らしたことで、電気使用量の削減につながっていました。手紙を電子化したことで紙の使用量削減になりましたが、まだ工夫できる点もあったかと思えます。今後も職員にこまめに呼びかけエコを意識した取り組みを行いましょう。また、子どもへもエコへの意識が持てる取り組みを更に行っていきましょう。
評価			

宮川 第 二 保 育 園

目標		目標達成のための取組	
紙の使用量を減らす		園内向けの資料や、家庭通知などキッズビューを利用する。裏面利用、ミスプリントの削減を行う。	
水使用量の削減		トイレの水の水勢を使い分け節水する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
75%	具体的な目標を継続的に行えるよう職員一人ひとりが意識して取り組んでいくことが大切だと感じた。	引き続き、具体的な取り組みを行っていく。	電気、水、紙の使用量削減に向けて、具体的な方法を職員で共有し、取り組んでいけるようにする。
評価			

玉川保育園

目標		目標達成のための取組	
冷暖房、電気、ストーブの電力を節減する。		適正な設置温度を徹底し、室内温度をこまめに確認する。使われていないコンセントを抜く。	
紙類やプラスチック類の分別への意識が園全体で持てるようにする。		おやつ後のプラスチック類や紙類の分別を職員や保育士、子ども達にも呼びかけていく。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
74% 評価	<p>目標2・・・冬季は室内が寒く、エアコンとストーブの切り替えをしながら過ごしてきたが、推奨されている設定温度にしてもなかなか部屋が温まらない。(施設が古い)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽が当たらない時や低い時、エアコンの効きが悪く、ストーブの使い分けができなかった。 ・トイレの電気(自動)「連続」設定になっていることが多くあった。 <p>目標3・・・子ども達にも、プラマークと紙マークの表示を伝え、分べつする意識をつけたことで進んでゴミの分別ができるようになってきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部屋に分類ボックスがあれば分類しやすい。 ・分類ボックスをゴミがやすい場所に設置してあるので分別しやすい。 	<p>目標2・・・施設環境の改善、見直しを求めます。(リノベーション等)</p> <p>ストーブのセーブ機能を利用したり、扇風機を回して空気の循環をしたり部屋全体が暖まるようにする。</p> <p>トイレの電気設定を自動にしておく。</p> <p>室温をこまめに確認し、室温が適正になるようにする。</p> <p>目標3・・・各部屋に分類ボックスを置く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーブのセーブ機能を利用したり、扇風機を回して空気の循環をしたりし部屋全体が暖まるようにした。 ・トイレの電気設定を自動にしたり、いないところの電気を消したりし節電に心掛けた。 ・室温をこまめに確認し、室温が適正になるようにした。 ・各所に分類ボックスを置き、全職員に周知した。
B			

湖東保育園

目標		目標達成のための取組	
離席時にはパソコンモニターの電源を切る。		離席時は周りにいる人に伝え、パソコンモニターの電源を切るよう声をかけ合う。職員会などで周知を徹底していく。	
残業時、照明点灯は必要最低限とする。		残業時は事務室をできるだけ利用するようにし、同じ照明下で業務を行うようにする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
86% 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・行事がある時期はどうしても残業が発生し、定時での退勤が難しかった。残業時はできるだけ事務室を利用するようにしたので、電気や冷暖房を節約することができた。 ・パソコン利用時、離席する時にモニターを切ることは心がけているが、周知がまだ足りない部分がある。タブレットは各職員が節電を心がけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水曜日は夕会でノー残業デーであることを伝え、定時に退勤できるような意識を各職員が持てるようにする。 ・パソコンモニターやタブレットを使用しない時は早めに切ることを職員会や朝礼などで周知していく。 	<p>意識して電気を消すことは職員間で周知し合えていましたが、まだ工夫できる点もあったかと思います。保育時間後は事務室を利用して業務を行い、冷暖房の節約につながりました。またお互いの業務内容を把握でき、業務の割り振りができやすくなりました。今後も職員会や朝会などでこまめに呼びかけ電気使用量の削減、ノー残業を意識した取り組みを行いましょう。</p>
B			

豊平保育園

目標		目標達成のための取組	
コピー機やプリンターの使用は両面又は縮小等をし、紙の削減をする。		配信するか紙のベースで配布するかを事前に検討する。縮小の仕方や両面の方法についてわかりやすく表示する。会議はタブレットを使用する。	
Do (実施)	Check (点検)	Act (改善)	フォロー (指摘・指導等)
80% 評価 B	<ul style="list-style-type: none"> 共有の場所は消すタイミングに迷うことがあったが、意識して消すことができている。トイレはLEDになったことで時間で消灯できている。 職員会でも周知したため、意識できるようになってきている。 	引き続き、職員会などで周知徹底できるようにしていく。	意識して電気を消すことで電気使用量の削減につながっていました。まだ工夫できる点もあったかと思えます。今後も職員会や朝会などで、こまめに呼びかけ電気使用量の削減を意識した取り組みを行いましょう。

北山保育園

目標		目標達成のための取組	
エアコン、ストーブの使用量に気を付ける。		エアコン、ストーブを気温に合わせて効率よく使い、適正温度を心掛ける。切る付けるを頻繁に行わない。	
残業時の照明使用料に気を付ける。		残業時は、1つの部屋で仕事をするように心掛ける。	
Do (実施)	Check (点検)	Act (改善)	フォロー (指摘・指導等)
92% 評価 B	電気を積極的に消灯したり、1つの部屋に集まって仕事をしているが、電気代の大幅な削減になかなかつながらない。	定期的な声掛けで意識していく事が節約、削減につながる。意識をしなければ実行につながらない。	電気の節約を毎日繰り返していく事で、電気量ひいては電気代の削減につながる。

中央保育園

目標		目標達成のための取組	
ブラインドやカーテン、緑のカーテンなどにより熱・光・風を調節する。		時期や時間にあった使い方をする。	
10分以上席を離れる場合はパソコンモニターの電源を切る。		意識して切る。	
クールビズ・ウォームビズを実施する。		季節や気温にあった服装を心がける。	
Do (実施)	Check (点検)	Act (改善)	フォロー (指摘・指導等)
80% 評価 B	早朝はストーブを利用して温め、エアコンに切り替えるようにしているが、寒い日が多かったためエアコンでは温度が保てずまたストーブに切り替えることが多かった。	エアコンとストーブの上手な併用の仕方を考え、無駄のないように使用する。室内の温度をこまめにチェックするようにし、適正な温度になるようにする。	クールビズ・ウォームビズを行いながら、取り組むことができた。エアコンとストーブの使い分けなど、良い方法を周知したこと、職員が意識して取り組むことができた。

米 沢 保 育 園

目標		目標達成のための取組	
クラス内の照明の必要箇所を確認し、必要以外の箇所は消灯する。		<ul style="list-style-type: none"> ・必要なスイッチ個所に目印をつけ unnecessaryな照明の点灯をなくす。 ・使わないもののコンセントを抜く。 	
紙の裏面使用や、印刷ミスを減らし紙の使用量を削減する。		<ul style="list-style-type: none"> ・印刷時にページの集約をするなど印刷の仕方を工夫する ・職員の配布物は回覧にする。 	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
73% 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・残業時の照明の点灯は集まって仕事をするように声をかけたことで、意識して行うことができた。 ・照明は必要な場所で使い、使い終わったら消すようにした。一人一人が行っていくことで削減につながる。 ・紙の使用やごみの量はその月の行事や保育内容によって差がある。コピー用紙だけでなくカレンダーやその他の紙も利用するようにした。ページの集約や縮小するなど印刷の仕方を工夫するようになった。保育の中での紙の使い方を考えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・残業時の仕事場所を事務室にすることで照明の点灯を最小限にしている。 ・各クラスや園内で使っていないもののコンセントを抜く。 ・保育の中で利用できる紙類についての情報を園内で共有し活用する。 	<p>朝会や夕会で周知しほとんどの職員が節電に心がけ共通認識して節約に取り組むことができました。クラスを使わない時にはエアコン、電気を消すなど一人一人の意識が更に深まるように今後も職員全体に投げかけを工夫しながら取り組んでいきたいと思います。紙類については、使い方を再確認し、子ども達にも意識できるようにしながら再利用の仕方など、工夫しながら取り組んでいきたいと思います。</p>
B			

金 沢 保 育 園

目標		目標達成のための取組	
紙の使用量を減らす。		<p>保護者向けのお知らせ等についてはキッズビューで配信ができるものについては活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷前にミスがないか必ず確認する。 	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
68% 評価	<p>各部屋の室内照明や扇風機・暖房等、使用していない時、部屋を開ける時にはこまめに消すことを職員間で意識して取り組むことができた。</p> <p>手紙等、配信を行っているが、紙の使用量は、まだミスプリントがあるなど、減らすことがあまり出来なかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き職員間で、使用指定内部屋の照明などこまめに消すことを意識できるよう伝えあう。 ・印刷するときには、再度確認するなどミスプリントを減らすよう、職員会議などでも知らせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き職員間で、使用していない箇所の照明などこまめに消すことを意識できるよう伝えあう。周知したり印刷前に声をかける。
B			

泉野保育園

目標		目標達成のための取組	
冷暖房の使用を必要最低限とする。		降園後は、事務室で仕事をするようにし、暖房の使用を減らす。	
電気ポット等電気製品の使用を必要最低限とする。		ポットの必要水量を調整し、使用する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー (指摘・指導等)
88% 評価	朝礼や職員会等で確認する機会をつくり、意識して取り組むことができた。使用頻度等を考慮して確認したり、気が付いた職員は消灯したりした。なるべく残業はしないよう仕事を工夫しながら取り組むことができた。暖房の使用については、室温をこまめに確認して温度を下げたり、消したりして調節し使用できた。	ストーブからエアコンへの切り替えなど体感や室温の状況確認をしたり、気温に応じて子ども達とも話しながら、入口の戸をこまめに閉めたりする意識が持てるように取り組んでいく。	職員間で意識して取り組むことができたと思うので、子ども達とも共有しながら取り組んでいくようにするとエコについて育っていくと思います。
A			

小泉保育園

目標		目標達成のための取組	
保育後の準備や書類整理等は事務室で行い、空調機器の使用、照明点灯は必要最小限とする。		電気使用量の削減に心がけ、事務室で効率的に業務ができるようにする。冬に向けて、更に使用頻度もあがるため、声をかけ意識をもつ。	
10分以上席を離れる場合は、パソコンモニターの電源を切る。		つけたままにならない、うっかりがないように、それぞれが意識して取り組む。定期的に園全体に周知していく。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
83% 評価	保育後の準備や書類整理に関しては、行事前などは準備が多くあり部屋で行うこともあったが、クラスで行わなくてもできる作業は事務室で行うことができ、電気料削減に努めることができた。パソコンの電源を切ることは意識して進めていたが、子どもの対応で消さずに次の行動へ移ることもあったため、気をつけていく。	パソコンの電源は、職員会、朝会等で定期的に伝え、意識をもつことの徹底を行う。目標 1.2.3 に対して、お互いが声をかけ合う習慣をつける。何でも言い合える職場環境作りをしていく。	目標に関して意識をもち取り組んでいるが、一人一人が意識できる職場環境作りも行いながら、更に徹底できるよう定期的な声かけや事務室に掲示を行うなど、強化できるように取り組んでほしい。
B			

みどりヶ丘保育園

目標		目標達成のための取組	
残業時は使用箇所を事務室とし、空調機器の使用、照明点灯は必要最小限とする。		職員間のコミュニケーションを図ると共に仕事を分担化し効率的に事務作業ができるようにする。	
日中保育時は自然光を採用し、可能な範囲で消灯する。		保育室内の光度を意識し、消灯するようにする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価	事務仕事表を出勤時に記入し、一日の仕事の配分や見通しを立てたことで、残業を減らす目安になった。職員間のコミュニケーションを図ると共に、事務室で作業をすることで照明や暖房機器の最小限の使用につながった。保育室でも自然光の活用や室温、湿度を配慮しながら電気機器の使用を心掛けた。	ノー残業日を朝会で伝え合ったりしたが、個人の仕事が終わらなかつたり園内研究などで残業をすることが多かった。休憩時間の配分や職員間で仕事内容を把握し合い、お互い声をかけ、円滑に事務仕事ができる環境を整えていく。	・SDGsの取り組みを継続していかれるよう職員、子ども達に意識づけられる環境を作っていく。 ・仕事内容を職員で把握し合い、声をかけ合い効率よく仕事ができるよう環境を作り意識していく。
B			

中大塩保育園

目標		目標達成のための取組	
事務室・保育室・廊下・トイレなど不要な照明を消す。		日中の保育室、廊下の電気は必要最低限で利用する。「電気を消す」の掲示と共に消し忘れ時はその都度声を掛け合った。	
紙類雑誌・段ボール・新聞紙・その他の紙)の分別を行い、燃えるごみの削減をする。		職員への通知、メモ用紙、などは裏紙を活用した。おやつ用のプラ袋の活用を周知しごみ袋に活用。プラごみの分別を行った。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
73% 評価	1 モニターをつけっぱなしにしている様子が多く見受けられた。意識づけが必要である。 2 電気の消し忘れが時々あった。特に、トイレの電気をつけっぱなしになっていることが多かった。 3 ・ごみの分別はこまめに行うことができたが、各クラス内でもプラごみの分別を意識的にしていくことがよい。 ・紙類で回収箱を設置してあるが、ごみで捨てることもあった。再生できる紙類はゴミ箱に捨てないことを徹底する必要がある。	1 気づいた時に声をかけ合って、離席する時はモニターを消すことを意識できるようにする。 2・引き続き電気等の消し忘れがないよう、職員に周知する。 3 ・各クラスにもプラごみのゴミ箱を設置する。 ・紙類等の回収箱の周知していく。	職員に周知する機会を多く持っていなかったことで、目標達成に対する意識が低かった。月ごとの振り返りも、全員で行うことがなく、園全体課題を持って取り組む事ができなかった。周知のタイミングや方法を考え、実施していく必要がある。声の掛け合いができるようにしていく。
B			

学校教育課

目標		目標達成のための取組	
紙の使用量の削減を図る。		<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料の簡素化や PC 上で確認できる時は印刷を行わない。 ・裏面印刷、両面印刷、縮小印刷を心がける。 ・印刷前に印刷レイアウト、枚数等の確認を行う。 	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
95% 評価	外出、離席等、再度業務に就く場合の画面の電源 OFF についても概ね達成できたが、更に徹底したい。	朝礼時にも呼びかけを行い、一人ひとりが意識して電源 OFF できるように注意喚起をする。	目標達成に向けて、一人ひとりが意識して取り組んでいました。声掛けをすることで、職員の意識は確実に変わったと感じています。
B			

永明小学校

目標		目標達成のための取組	
児童自身に環境意識を高める。		総合的な学習に時間を活用した環境教育の実践を広げる。	
紙類(雑誌、ダンボール、新聞紙、その他の紙)の分別を正確に行い、燃えるゴミの減量をする。		<ul style="list-style-type: none"> ・シュレッダーダストも資源物として出す。 ・職員会議は PC 上で行い髪を削減する。 ・裏紙の利用。 	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
92% 評価	児童会や PTA 中心にエコ活動の呼びかけができた。換気をしながらか使用しているため、ストーブ使用は頻度が高くなってしまった。使用していない教室の電気を子供たち自身からも消す姿が増えてきた。	まずは職員が高い意識をもつことで子供たちの意識を高め、取り組んでいく。新校舎でのアルミ缶回収の場所など決まっていないので、新校舎でのエコ活動を具体的に進めていく。	職員間の連絡は C4th を活用する。Teams のチャット機能も使用する。また、保護者へのお便りはオクレンジャーで PDF ファイルで添付して送信し、紙の使用量を削減につなげる。
B			

宮川小学校

目標		目標達成のための取組	
校舎内の照明が常時必要な箇所、適宜消灯できる箇所を確認し、消灯できる箇所は消灯する。		廊下、トイレ・手洗い場、昇降口は、天候により暗い場合を除き、昼間は消灯する。使用しない教室は、短時間でも消灯する。	
児童にSDGsを中心とした環境意識を高める。		児童会(環境整美委員会を中心に)や総合的な学習の時間の活動を、定期的に全校に発信していく。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・1月以降インフルエンザ感染者が増えたことで、児童の体調面への配慮から、換気をしながらの加湿器・暖房(ストーブ)の使用量が増えた。 ・使用していない教室や場所の消灯を心がけ、こまめに消灯を行うことができた。 ・環境意識を高めるための情報発信は、児童会行事において発信できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の児童の体調に応じて、加湿器・暖房の使用時間を調整していく。 ・消灯については、意識の高さが取り組みに見られることから、継続して目標に位置づけていく。 ・環境意識を高める取り組みについては、児童会を中心に全校へ発信するようにしていく。また、学級の活動において、趣旨を理解して取り組めるよう推奨していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の共有を行い、児童の健康と安全に配慮しながら、環境面においても積極的な取り組みを推進していくようにしたい。 ・職場の一角に、取り組みの見える化(目標掲示や書き込みボード)を施していくことも考えていきたい。
B			

米沢小学校

目標		目標達成のための取組	
ノー残業デーを徹底しながら、電力消費を抑える。		金曜日は早く帰れるよう、校内外の会合を入れないようにする。	
服装の調節を呼びかけ、エアコンや暖房機器の使用を抑制する。		エアコンの使用開始時刻をずらすことで、電力の消費を抑える。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー (指摘・指導等)
82% 評価	<ul style="list-style-type: none"> 南校舎はエアコンとブルーヒーターでの暖房となっている。エアコンは、消し忘れることが時々あるので、気を付けたい。 電力消費が高まったときは、節電するように各所を回ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童下校後、エアコンが消えているかどうか、日直当番には時間通り回ってもらえるように声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の環境への意識が高まるよう、声掛けをしていきたい。
B			

豊平小学校

目標		目標達成のための取組	
ペーパーレス会議の実践、ミスプリントを少なくする		点検を行い、ミスを少なくする。紙を使わなくてもよいものは、印刷しない。	
電気スイッチのオン・オフをこまめにする。		電気製品をみんなが見えるところに配置する。	
時間外勤務を減らしていく。		定時退校日には、声を掛け合い、掲示を工夫する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
87% 評価	<ul style="list-style-type: none"> 決裁文書は、紙に印刷して加除修正をする方が、データで回議して決裁するよりも仕事の効率は良いと感じる。しかし、ペーパーレス化は進みにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 空き教室になる際は、室内の電気を消す。また、ファンヒーターの設定温度を下げたり、消火したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> こまめに電気を消したり、暖房の調整をしたりするなど、必要なものについて職員に声かけをし、実行できるようにしていく。
B			

玉川小学校

目標		目標達成のための取組	
教室や職員室内の照明が常時必要な箇所、適時消灯できる箇所を確認し、消灯できる箇所は消灯する。		移動教室時の教室の消灯や使用後のトイレや日中の廊下での消灯についても、児童会活動を含めて呼びかける。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
72% 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・後期が始まり、周知をした際は向上したが、学期末になり、パソコンを使用した業務が増えるとモニターをそのままにしてしまうこともあった。 ・暖房器具の中に、使用できないものがいくつかあり、新しいものが設置されるまではエアコンを使用するしかなく、2～3か月エアコンを使用した教室がいくつかあった。 ・児童会活動とのタイアップがもう少しできると良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンのモニターに関しては、こまめに切ることを習慣づける必要があり、日頃からの声掛けを継続する。 ・暖房器具に関しては、他教室も含め確認していただいたので、来年度は改善される。現在暖房器具が不調である教室は、早い段階で修繕を依頼する。 ・児童会活動に組み入れるには年度当初から計画していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のLED化により、電気量を大幅に削減できたが、その分、温暖化等の影響で、児童の健康状態を配慮し、必要な場合には適切な使用を心掛ける。 ・修繕、管理を徹底し、普段の使用方法について、全職員の意識づけを図っていく。
B			

泉野小学校

目標		目標達成のための取組	
ウォームビズやクールビズ、換気による室温調節などに、冷暖房に頼らない暑さ・寒さ対策をする。		時間を決めて換気をするなど、暖房効率も考えながら換気の仕方を工夫し、室温を調節する。衣服による体温調節を励行する。	
電気製品の使用時間の短縮を図る。		児童下校後は可能な限り職員室で執務し、使用する照明の数を減らす。不使用時や退勤時にはPCの電源をOFFにする。	
紙の使用量を抑える。		試し刷りができるように仕事を進め、印刷ミスを減らす。裏紙利用と両面印刷を励行する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー (指摘・指導等)
89% 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、手洗い場、廊下、昇降口等の消灯はできていた。教室を空けるときの消灯も、児童の当番活動等により年度当初よりは意識されるようになった。 ・感染予防対策のための換気は習慣化しており、冬季であっても換気は継続、その上での衣服による体温調節も習慣化していた。 ・両面印刷や裏紙利用は概ね取り組んでいたが、年度末に印刷ミス等、紙の廃棄が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室を空けるときの消灯について、児童の当番活動・係活動と関連付けてクラス全体で取り組むと同時に、トイレや手洗い場などの消灯についても意識が向くよう引き続き指導していく。 ・児童下校後の職員室執務は、概ねできており、定着しているので継続していく。 ・裏紙を使った試し印刷ができるように時間にゆとりをもって仕事を進め、無駄な紙の使用(印刷ミス)を減らす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・換気と燃料節約の両立は難しいかもしれないが、衣服による体温調節など個人でできることを意識づけて推進していくようにする。同様に、節電についても、不要な電気は消そうとするなど、個人でできることを考え、意識づけをしていく。 ・各学習と関連付けてSDGsを意識しながら、児童と一緒によりよい方策、できそうな活動を考え、実施していくことが有効だと思う。
B			

金 沢 小 学 校

目標		目標達成のための取組	
紙使用量を削減する。		連絡のICT利用(掲示板)。 裏紙の利用。 会議資料をパソコンで見る。	
電気使用量を抑える。		使用しない場所の消灯。 放課後は職員室で仕事する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
85%	金曜日の定時退勤を日報などで呼び掛け、当日その時間になったら声をかけた。全員とまではいかないが、だいぶ早く帰る習慣がついた。	児童が下校した後の廊下など、当番が回るまで電気がついていることがあるので下校時間に消して回るようにしたい。	・全体としては、環境への配慮を職員は意識できていた。紙使用量の削減、資源リサイクル等への取り組みは概ね良好だった。この取り組みを継続すると同時に、雑紙回収袋を各教室で利用するなど、更に推進できるとよい。節電、節エネルギーに関しては、教室を使用していない時に、消灯忘れ、暖房中のドア開放などが散見されるので、資源リサイクルと併せて児童にも注意喚起し、職員・児童が一緒に取り組むようにすると良い。
評価			
B			

湖 東 小 学 校

目標		目標達成のための取組	
電機の使用機器を意識し、不必要な電気をつかわない。		児童の係活動に位置づけ、こまめに電気を消す。 冷暖房使用の室温を子どもの体調を考慮して適切なものにする。	
紙の使用量を抑制する。		学校からの通知は、できるだけ配信で行う。	
Do (実施)	Check(点検)	Act (改善)	フォロー(指摘・指導等)
90%	通知の配信を年間通して行った結果、紙の使用量を減らすことができた。子どもの体調を考慮した暖房使用や、凍結防止ヒーター使用により、電気の使用量は減らせない面もあるが、こまめに電気を消すことに取り組めた。	次年度も通知の配信は続けていく。児童も一緒に、節電や紙を大切に使うことなどモノを大切にすることを促し、環境保護への意識を高めたい。	児童の健康、生活環境を第一にしながら、一人一人ができることに取り組んできたことを評価する。児童と一緒に環境保護の意識を高めることを大切にしたい。
評価			
A			

北山小学校

目標		目標達成のための取組	
紙使用量を昨年度比1割減にする。		・職員会議のペーパーレス化 ・裏紙の利用を増やす	
灯油使用量の抑制		・ウォームビズの推進 ・未使用教室でのストーブ使用をしない。	
環境教育・生き方教育の推進		・児童の環境への意識を高めるために、すべての学年において学習を実施する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
86%	・職員会議のペーパーレス化をはじめとして、ほかの会議でもペーパーレスが進み、電子化を進めることにつながっている。しかし、保護者向け通知のほとんどが紙媒体による通知なので、ペーパーレスにつながっていない。 ・換気や感染対策のために、教室や廊下の窓を開けている。その結果、校舎内全体の気温が下がるため、石油ストーブを使う時間が長くなってしまった。	・保護者向け通知を電子化している学校があるようなので、情報を精査し、本校でも取り入れることができるか検討する。 ・換気や感染対策を踏まえつつ、窓を開ける時間を決めるなどして室温の著しい低下を起こさないようにする。	子どもたちの環境意識は高まっている。一方で指導している教師側の環境意識が進んでおらず、放課後の電灯・エアコンのつけっぱなし等がみられた。今後も児童・職員双方に意識づけられるよう、目標を設定して改善を図っていきたい。
評価			
B			

永明中学校

目標		目標達成のための取組	
新しい紙の使用量を削減する。		職員に配布する印刷物については、極力裏紙を利用することを徹底する。また、会議資料等、電子化できるものは印刷せずにデータにする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
93% 評価	モニタの電源をこまめに切ることを職員会等で周知した結果、多くの職員が実行できるようになっている。印刷物の裏紙使用についても、同様である。年末や年度末など、忙しい時期になると実施が難しい場面も見られた。	印刷物については、職員に配布するものは極力裏紙を利用しているが、生徒が使うものは裏紙使用ができないため、残部が極力少なくなるようにさらに配慮していく。	職員間で確認をし合いながら進めてきているが、改善の余地があるので、来年度はさらに取り組みを進めていきたい。
B			

長峰中学校

目標		目標達成のための取組	
紙の使用量を昨年度に比べ、大幅に削減する。		前期比引き続き、重点目標とする。特に後期は、授業等で配布するプリントの削減に力を入れていく。ICT機器の利用を積極的に行う。	
生徒自身にSDGsの意識づけを浸透させ、環境意識を高める		清掃の時間を通して、環境意識を育成することももちろん、生徒会活動や教科活動でもその意識づけを図っていく。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
81% 評価	ペーパーレスによる職員会の実施は完全に定着することができた。これにより、紙の使用料は減少したと考える。冷暖房の機器の使用については、設定温度の遵守を呼びかけ、1年間を通して全校がその意識をもって取り組むことができたと感じる。SDGsに対する意識付けは、環境問題を考える場面を通じて実施してきたが、その場面がそれほど多くなかったように思う。	ペーパーレス化については、更に進めていく必要がある。紙資源を活用しなくてもよい場面を精査し、「紙は使わない」という共通認識をさらに図っていくよう改善する。SDGsの意識づけについては、環境教育の中でもっと取り上げていくとともに、生徒会活動にもっと取り入れていくよう係と連携することを大切にしたい。	今年度の目標は概ね達成されたと思います。今後に向けて、取り組みを拡大するためにも、その内容をより吟味し、推進していくことが大切だと思います。あまりハードルを高くせず、取り組みやすい内容を積み重ねることで大きな目標に到達できると感じています。
B			

北部中学校

目標		目標達成のための取組	
節電・節水		掲示や朝会等で周知し、職員と生徒が節電節水があたりまえになるように働きかける。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
75% 評価	行事や来客などで昼間普段付けていない電気をつけた後、消し忘れていたことがあるので、気を付ける。	朝会やC4thなどで節電を呼びかける回数を増やし、職員が節電等を当たり前に取り組めるように働きかけたいと思います。	<ul style="list-style-type: none"> ・水道の蛇口の閉め忘れを、日直当番と最終巡視で確認を行った。気づいた職員が閉めるよう意識を高める必要がある。 ・エアコンやヒーターは、職員が一人一人使わないときは消すように心がけるとともに、日直当番や巡視当番が留意するとともに、無駄な使い方があった場合は、管理責任者に必ず報告することが大切である。 ・節水や節電については、生徒への呼びかけを行い意識を高める必要がある。
B			

東 部 中 学 校

目標		目標達成のための取組	
冷暖房の適正利用に努める。		設定温度や使用方法を職員間で共有し無駄のない使用を全校で取り組めるよう意識付けをする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は特別教室もほぼFF式ファンヒーターに変わったため前のストーブに比べると暖まるのも早いせいか温度設定もしっかり守れていた。 パソコンのモニター電源は大体の職員は実施できるようになっているが忙しくしていると忘れてしまうこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の目標はほぼ達成できている感じだが、誰もいない教室・日中明るい場所の電気が付けっぱなしになっていることがあり学校全体で無駄のない使用を全校で取り組めるよう意識付けをしていくようにしたい。 	<p>おおむね順調に目標の達成ができてと感じています。エコな職場づくりが一步前進しました。</p> <p>同時に「C」にあるように、まだできることもあります。いかに全員が徹底するかということをお願いし、今後とも取り組みを進めたいと考えます。職員会等で目標を共有し、お互いに声を掛け合う校風をさらに高めていきたいと考えています。</p>
B			

生 涯 学 習 課

目標		目標達成のための取組	
電気製品の使用時間を短縮する。		終業時に当番が電源を切る。また、電気ポットを切る旨声がけし、コンセントを外すことを徹底する。	
印刷物を減らし、プリンターの稼働率を上げる。		<ul style="list-style-type: none"> 印刷前のプレビュー確認を徹底する。 掲示板・回覧板の記事は、メールや再回覧等を多用する。 画面確認に馴れるように努め、むやみに打ち出さない。 資料は紙保存からデータ保存へ 2in1、4in1、縮小印刷を多用する。 	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
73% 評価	<ul style="list-style-type: none"> 前半に引き続き、照明の消灯、電気製品の使用時間短縮については、みんなで取り組むことができた。 印刷物の削減等については、前半よりも取り組めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 早めの照明の消灯等、日常的にできることを引き続き行う。 	<p>照明の消灯や、電気製品の使用時間短縮については、みんなで意識をもち、取り組むことができていました。また、印刷物の削減等についても、気を付けて取り組んでいたと思います。個々の取り組みを進めるとともに、お互いに意識あいながら取り組むことが、効果的であると感じられます。今後も、お互いに意識の向上を図り、取り組んでもらいたいと思います。</p>
B			

家 庭 教 育 セ ン タ ー

目標		目標達成のための取組	
施設利用者に電気・空調等を適切に使用いただくよう働きかける。		暖房の消し忘れがないよう機器の使用方法和併せて節電について掲示する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
80% 評価	<ul style="list-style-type: none"> 事務室は不在としたため、ちのCC職員による毎日の点検をしている。暖房の消し忘れがなかったこと、家庭教育センター事務室が不在になったことにより灯油使用料が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年4月から施設はちのCCが管理する。今後も利用者が暖房機器の適切な使用が出来るよう館内に掲示し、周知を図る。 	<p>令和5年度は、家庭教育センター事務室の職員は不在となったため、ちの地区CC職員に日々の点検をお願いしてきました。日々、電気や暖房の消し忘れがないよう見回り点検をしていただけたことにより、エネルギーの消費低減に繋がりました。</p> <p>令和6年度からは、館はちの地区CCとなりますが、今後も引き続き、日々点検を行っていただきますようお願いいたします。</p>
B			

中央公民館

目標		目標達成のための取組	
施設使用者に電気・空調等を適切に使用いただくよう働きかけ、環境意識の向上を図る。		施設使用後、使用票の確認と声掛け、使用後の部屋の見回りをし、人のいない箇所は消灯する。	
環境教育についての講座・講演会等の実施及び公民館報等に掲載することで環境教育の推進に努める。		毎年、環境教育についての講座等の計画、実施を継続していく。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
94% 評価	事務所内の照明について、全員が常時心掛け取り組むことができた。使用後の部屋の見回りも概ね取り組むことができ、夕方の見回りをするなどにより一層電気・空調等の確認ができた。前年比3%の削減までには至らなかった。環境教育については講座等の計画を常に心がけて取り組めた。	公民館使用の増や猛暑の影響もあり、前年比3%削減までには至らなかったが、今後も継続して取り組みを進める。使用者への声掛け、注意喚起に更に努める。	中央公民館長 昼休み時間等での事務室の消灯の実施、使用団体がいないときの階段の消灯に努め、夕方の館内巡視時暖房・照明の切り忘れ等がないかの確認を日々実施しました。また、「風車を作って環境問題を学ぼう」をはじめ、主催講座にて受講者に環境問題を意識していただけることを狙いとした事業を実施しました。以上の項目等職員全体でよく取り組みました。
A			

図書館

目標		目標達成のための取組	
利用者の状況に応じた節電の実施。		最施設巡回の際、利用者に影響のない範囲で必要のない照明、空調を消す。	
環境教育の推進		自然環境に関する書籍の購入や、展示を行い意識の向上を図る。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
98% 評価	事務室内の消灯は全員が心掛け毎日実施できている。巡回時に不要な照明を消すことも徹底されており、空調についてもその日の状況を見ながら温度の確認・調節を行うことができた。電気使用量については2月末現在で前年比5.3%の削減となり目標を達成することができた。環境に関する書籍については適宜選書・購入している。	引き続き事務室内の消灯、巡回時の確認・温度調整を徹底する。各自のPC・図書館システム端末・プリンタの電源も確実に落とすよう、業務終了時の点検を徹底する。また、閉館時の消灯の点検も引き続き実施していく。	目標については、ほぼ達成できていました。エネルギー消費の削減を意識し、引き続き事務室内の消灯、巡回時の確認・温度調整を徹底してください。各自のPC・図書館システム端末・プリンタの電源も確実に落とし、業務終了時の点検を徹底してください。また、閉館時の消灯の点検も引き続き実施してください。
A			

尖石縄文考古館

目標		目標達成のための取組	
毎週水曜日のノー残業デイを徹底し、電気使用量の削減に努める。		水曜日の朝礼で取り組みの周知を行う。	
空調の温度設定を抑えるため、適切なクールビズを実施する。		9月をもってクールビズ期間が終了したため、来年度以降の取組について検討する。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
83% 評価	事務室の温度設定は職員同士で声をかけあい、こまめな温度調節ができた。	事務室内でも場所により温度が違ったり、一人ひとりの体感温度も違うため、空調だけに頼らずひざ掛けやカイロを併用するなどの工夫も必要。	電気使用量の前年度比3%削減に向け、前期の取組の見直しを経て、全職員で取り組むことができました。空調機器等の適切な使用に加え、個々人の体質や状況に応じた独自の取組を行うこと、また独自の取組を職員間で共有し実施することで、使用量のさらなる削減につながるように思います。
B			

八ヶ岳総合博物館

目標		目標達成のための取組	
グリーンカーテンを設置する。		グリーンカーテン撤去後は、来年度に向け、種を採る	
光害についてできるだけ周知する。		観望会で周知を図るとともに、長野県の光害についてのチラシを来館者に配布する	
Do (実施)	Check (点検)	Act (改善)	フォロー (指摘・指導等)
96% 評価	目標1について、1月に暖かい日が続き、空調を抑えることができた。寒い日にはウォームビズに積極的に取り組むことができた。	ウォームビズの徹底と、扇風機を回し、効率の良い空調機器の使用を心掛ける。全市的に朝顔でのグリーンカーテンを設置してもらい、きっかけを作る。観望会の周知をもう少し広く行い、大勢の方に見ていただく機会を作る。	空調機器等の適切な使用に加え、博物館の事業と施設の特徴(構造)をいかした独自の活動により、目標達成に向け全職員で取組むことができました。訪れた市民等に対しても環境保護の大切さをアピールできたように思います。
B	目標2について、朝顔やルコウソウの種を採り、来年のグリーンカーテンにそなえることができた。 目標3について、冬の晴天時に観望会を開催することができ、光害の周知をすることができた。		

スポーツ健康課

目標		目標達成のための取組	
離席時にはPCモニター電源を切る。		会議や園内パトロールで離席する際は、各自で電源を切るように意識する。	
体育館内の不要な照明は適宜消灯する。		掲示や呼びかけなどで利用者にも周知する。	
30枚以上の印刷は輪転機を使用する。		窓口用印刷物は残りの枚数を確認し、輪転機の活用に努める。(窓口担当者との協力)	
Do (実施)	Check (点検)	Act (改善)	フォロー (指摘・指導等)
90% 評価	悪天候や冬季は暗い時間が長い為、照明使用が長くなる。	消し忘れ、無駄な電気は使用しないように各場所に張り紙や、呼びかけをする。	重点目標は電気使用量の3%削減でしたが、全施設6%増、体育館に限っても12%増となってしまいました。これはコロナ明けで施設稼働率が上がったことも原因の一つとして考えられ、制御できない部分があります。 しかしながら、特に後期において節電の意識に欠けていた部分があると感じます。お互い声をかけ合うなど職員間の意識醸成を図るとともに、利用者にも呼びかけをお願いします。
B			

議会事務局

目標		目標達成のための取組	
不必要な照明は消灯する。		朝礼で再確認する。	
Do (実施)	Check (点検)	Act (改善)	フォロー (指摘・指導等)
90% 評価	エコマネ担当者の失念により、朝礼での再確認がほとんどなかった。議員のみの会議の場合、照明の消し忘れが稀にあった。	会議終了後の消灯について、議員にも周知を図る。	朝礼での再確認が無くとも、職員の節電の意識は高かったように思う。議員に対しての周知は、全員協議会やタブレットの活用などが考えられる。
B			

農業委員会事務局

目標		目標達成のための取組	
使用していない機器の電源は切る。		使用していないモニターは電源を切り、電気ポットは電源を抜く。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100%	特になし。今後も継続していきたい旨、係員で確認した。	来年度も、取り組みを継続していく。	共通、独自目標共に係員が共通認識のもと取り組むことが出来たと思います。
評価			
A			

選 監 事 務 局

目標		目標達成のための取組	
退庁時、照明のオフを徹底する。		朝礼等で周知徹底を図るとともに、最後にフロアを出る人は最終確認をする。	
Do (実施)	Check(点検)	Act(改善)	フォロー(指摘・指導等)
100%	目標1の選挙時以外の毎週水曜日ノー残業デイについては、業務上必要な超勤もあり、完全な達成には至らなかった。 目標2の退庁時の照明オフの徹底については、各自意識的に取り組むことができた。	選挙時以外の毎週水曜日ノー残業デイについては、さらに徹底できるよう朝礼での周知や職員同士の声かけにより意識して取り組む。退庁時の照明オフの徹底については引き続き取り組んでいきたい。	概ね目標達成に向けた取り組みが実行できているが、毎週水曜日のノー残業デイについてはさらに意識し、今後も、節電に取り組んでください。
評価			
B			

V 職員の環境教育

職員研修



職員の環境に対する意識の向上を図るとともに、環境マネジメントシステムに関する知識や技能の向上を図るため、職員研修を実施しています。

令和5年度は、地球温暖化問題の全般的な現状の把握や、日常業務や生活に取り入れられる温暖化対策の取組、環境マネジメントシステム(エコマネ茅野)に関する取組内容等の理解向上のため、外部の専門家を講師に招いて実施しました。

内部監査員研修

内部監査員として選出された職員を対象に、内部監査に向けて、環境関連法規等の知識・監査における技術の習得を目的として研修を実施しました。

受講後に確認試験を実施し、監査員の力量を把握するとともに、監査の重要ポイントを確認しました。

内部監査

茅野市環境マネジメントシステムの実効性をより高めるため、各部署、各職員の取組状況について客観的な確認及び評価を行うため、内部監査を実施しています。ここでは、内部監査員として職員が各部署に伺い、職員へのヒアリングや現地の備品・設備の確認、緊急事態への準備・対応についての確認等を行いました。



VI 環境関連法規等の遵守

環境関連法規等については、適用される法規制の把握、定期的な遵守状況の確認が必要になります。各部署は、毎年チェック表を用いて自己チェックを行います。また、内部監査において遵守状況を点検し、その際に外部専門家の助言や指導を受け、見直しを行います。

(遵守状況)

今年度の環境関連法規への違反はありませんでした。また、関係機関からの違反等の指摘及び訴訟は、過去3年間ありません。

(環境関連法規と該当する項目)

区分	法規制名	該当する要求事項
公共施設管理関連法規	廃棄物処理法	保管基準の遵守(法第12条2項)
		委託基準の遵守(法第12条、令第6条の2)
		産業廃棄物管理票(マニフェスト)の発行・保管(法第12条の3)
	PCB特措法	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正処理、届出(法第3条)
		廃棄物の保管等の届出(法第8条)
		期間内の処分(法第10条)
	フロン法	事業者の責務(法4条)
	水質汚濁防止法	特定施設の設置等の届出(法第5条)
		事故時の応急処置、届出(法第14条の2)
	消防法	指定数量未満の危険物・指定可燃物の届出(法第9条)
		指定数量以上の貯蔵と取扱(法第10条)
		設置許可、完成検査(法第11条)
		貯蔵の技術上の基準の遵守(法第12条)
危険物の取扱(法第13条)		
下水道法	定期的な点検、点検記録の保存(法第14条の3の2)	
	事故時の応急処置、届出(法第16条の3)	
	使用開始等の届出(法第11条の2)	
大気汚染防止法	使用開始等の届出(法第11条の2)	
	事故時の届出(法第12条の9)	
自動車リサイクル法	ばい煙発生施設の届出(法第6条)	
	ばい煙濃度等の測定及び記録を保存(法第16条)	
自動車リサイクル法	自動車をなるべく長期間使用し、使用済み自動車となることを抑制するよう努める。自動車の購入に当たって、再資源化等の実施に配慮して製造された自動車を選択するよう努める。(法5条)	
	リサイクル料金を資金管理法に対して預託しなければならない。(法73条)	
毒劇物取締法	毒物劇物取扱責任者の選任(法7条)	
	毒物劇物の盗難・紛失の防止策(法第11条)	
環境保全創造関連法規	地球温暖化対策推進法	計画の策定(法第20条の2、第20条の3)
	省エネ法	特定事業者の指定(法第7条)
		エネルギー管理者の選任(法第8条)
	建設リサイクル法	中長期計画、定期報告(法第14条、第15条)
		建築物等に係る分別解体等及び再資源化に努める(法第6条、第8条)
	グリーン購入法	事故の際の措置(法第16条の3)
環境配慮契約法	グリーン購入基本方針の策定、適合品の調達の実施	
環境配慮契約法	地方公共団体が契約を締結する際には、従来からの価格のみを考慮する仕組みを改め、価格に加え、温室効果ガス等の排出を考慮する。(公用車の購入、庁舎の設計など)(法第4条)	
環境活動・環境教育促進法	地方公共団体は、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する施策を策定し、及び実施するよう努める。学校教育及び社会教育における環境教育の推進に必要な施策を講ずる。(法第6条)	
全環境関連法規	環境配慮促進法	環境配慮等の状況を公表する。 環境活動レポートの作成・公表。
	食品リサイクル法	食品廃棄物等の発生抑制、再生利用の促進(法第4条)

VII 代表者による全体の評価

本市では、地域の一事業者として事務事業活動における環境負荷の低減に率先して取り組むべく、平成28年度から茅野市役所独自の環境マネジメントシステム「エコマネ茅野」を運用してまいりました。

令和5年度は、環境目標(市業務に伴うCO₂排出量削減目標)については目標値を達成することができませんでした。要因としては、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことによるイベント等催事の開催や施設の開館・利用状況の回復や、夏期の猛暑などの影響により、施設の空調使用が増加し、エネルギー使用量が増加しました。また、コロナ禍では実施が控えられていた対面でも研修、打合せが増加したことにより、公用車の使用が増加し、ガソリン使用量も増加しています。

また、CO₂排出量の50%を占める電気について、電気の使用量は令和4年度より減らすことができましたが、排出量は増加しています。これは、契約している幾つかの電力会社の中で、契約会社の排出係数が令和4年度より増加したものがあり、それにより全体的な排出量が増加となったことによります。

環境取組目標(共通取組の重点目標)の「電気使用量を前年比3%削減する」については、全庁的に目標達成を目指し、各職員の日頃の省エネ行動に加え、併せて実施した庁舎照明のLED化等の設備の見直しの効果もあり、目標を達成することができました。また、各部署における“チェック(点検)”と“アクト(改善)”は確実に実施され、PDCAサイクルによる継続的な改善活動の定着が見られます。

これからも、職員研修や掲示板等により、全庁的に現状の周知と具体的な取組方法を提示し、職員一人ひとりの取組意識を高めるとともに、関係部署の連携により、より実効的な取組方法を検討し、目標達成に向けて不断の努力を行ってまいります。

茅野市の豊かな自然を未来の子どもたちへ・・・

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

